



業種別部会長シンポジウム

SIMPÓSIO DOS PRESIDENTES DOS DEPARTAMENTOS SETORIAIS

CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

HomePage: www.camaradojapao.org.br / E-mail: secretaria@camaradojapao.org.br

司会

総務委員長：松田 雅信

APRESENTADOR

Presidente da Comissão de Coordenação Geral:

Masanobu MATSUDA

挨拶

会頭：田中 信

Palavras do Presidente da Câmara:

Makoto TANAKA

挨拶

総領事：西林 万寿夫

Palavras do Cônsul Geral:

Masuo NISHIBAYASHI

1. コンサルタント 部会

渡邊 裕司 部会長

1. Departamento de Consultoria e Assessoria

Presidente: Yuji WATANABE

業種別部会長シンポジウム

2006年上期の回顧と展望他

ブラジル日本商工会議所
コンサルタント部会長 渡邊裕司

2006年8月3日(木)14:00～

I. ルーラ政権4年間の回顧と展望

～ 結論 ～

1. 良好な経済パフォーマンス
2. 背景：90年代改革と世界景気の拡大（PT政権は幸運？）
3. 新興国家としては低成長目立つ（年率2.81%）
4. 構造改革を実行する強力政権は 外国投資拡大・成長

回顧

< 政治 >

1. 03年、左翼PT中核連立政権発足 市場に失望と不安
2. 「市場経済・均衡財政」路線を継続
3. 最賃引上げ、Bolsa Familia等福祉政策中心
4. 05年、政府与党に大規模汚職発覚 経済安定がスキャンダル吸収 政権崩壊せず

< 経済 >

1. 経済安定の背景

* 90年代の市場開放、通貨改革（リアル・プラン）、民営化（鉄鋼、電力、金融、通信）等改革 脆弱な輸入代替・国営工業が競争力つける

* 世界景気拡大、資源等高騰

* 左翼政権が市場経済を選択・継承した 市場安堵

2. 経済安定の要因

* 貿易・経常収支黒字の定着 国際収支の拡大均衡

* インフレ低下（03年9.3% 06年3.8%・米国並み）

* 金利低下続く（政策金利03年24.5% 06年14.75%）

* レアル通貨急騰（03年@3.1 06年@2.2/ドル、29%
切上げ）

* 公的対外債務減少（03年1,357億ドル 06年2月760
億ドル、44%）

* 外資流入好調（資本純流入03年11億ドル 06年148
億ドル）

* 失業率低下（03年10.9% 06年7.7%）

* 06年石油自給化予想 カントリーリスク低下

3. 対外評価 BRICs一員の国際的評価（03年米G.サックス）

< 対外関係 >

1. 国際舞台での新興国リーダーを継承（WTO、国連、南米地域）
2. 但しブラジルの域内政治主導に陰り チャベス台頭・MERCOSULの危機
3. 対米関係に基本的変化なし
4. 中国のプレゼンス ブラジルへの政治外交的影響はない

展望（課題等）

～成長のための改革を実行できるか～

1. 次期政権は

構造改革断行で「小さな政府」（債務削減）作れるか

公的内債残高：03年 9,871億レアル

06年2月 1兆3,085億レアル（1.3倍へ）

国債発行残高：1兆100億レアル（対GDP比51%、06年6月現在）

財政総合収支 巨額赤字

政府利払い額：1,587億レアル/年（対GDP比7.9%）

経済好調で改革怠る懸念は？

2. 日本企業の対伯戦略

ブラジルコストへの対処

米欧の投資に学ぶ余地

3. レアル高修正へ

金利低下

為替管理規則改正（06年7月）

4. MERCOSUL、日伯EPAは

WTOドーハラウンド失敗（06年7月）

FTAバイ交渉加速（アモリン外相） 対EU交渉決着？
日伯EPA喫緊の課題？

Mercosul内亀裂深刻化も 単独バイ交渉に踏み切る？

.部会個別テーマ

1.問題解決のための方策についての議論を喚起

移転価格税制

年金二重払い問題

日本企業親会社への日本国税当局の、ブラジル子会社からのロイヤリティー徴収要求

2.治安問題について

3.日伯間の動き

デジタルTV案件

エタノールの対日輸出

2008年日伯交流年

2. 金融 部会

福田 勝美 部会長

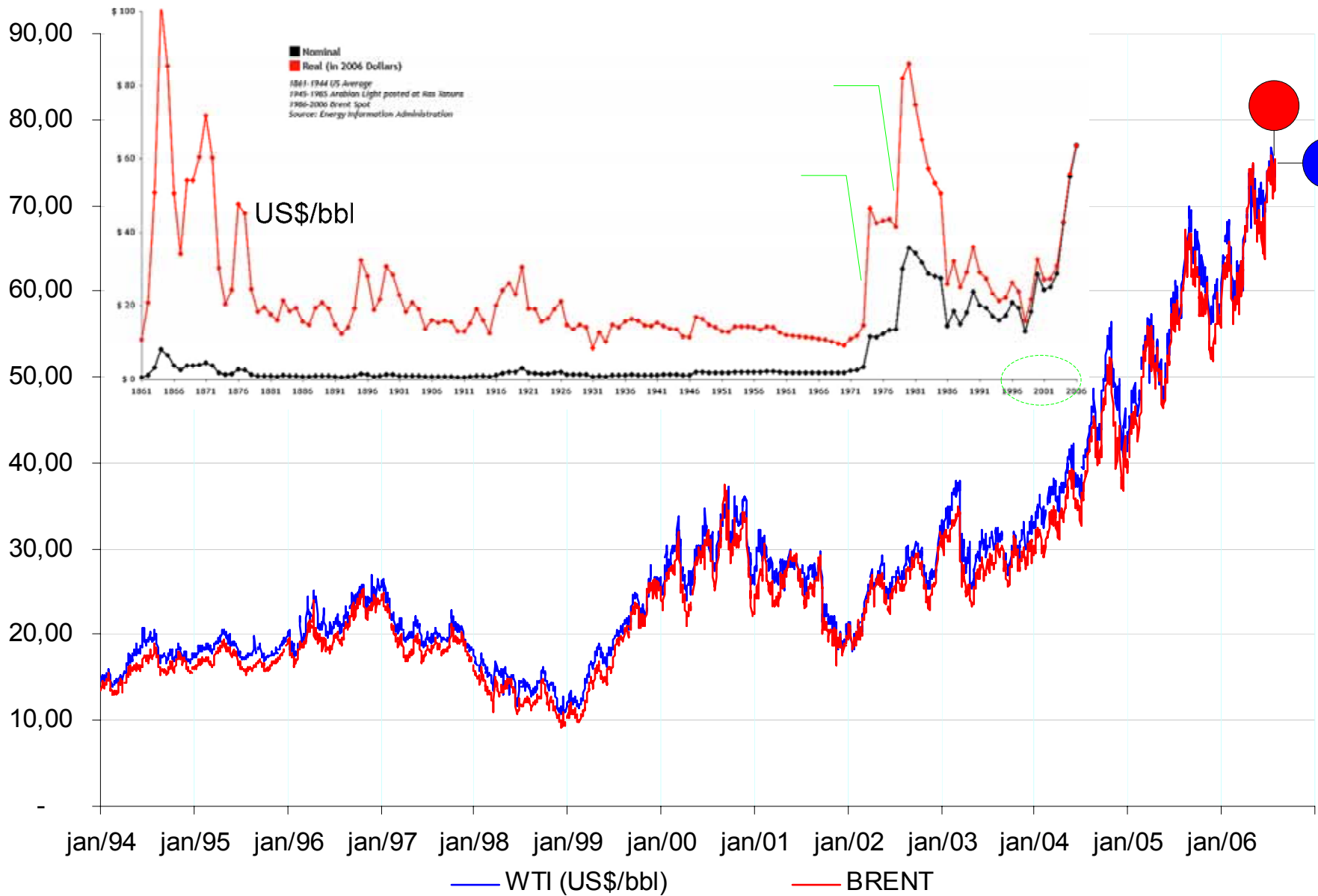
2. Departamento Financeiro

Presidente: Katsuyoshi FUKUDA

Câmara de Comércio e Indústria Japonesa de Brasil

金 融 部 会

2006年上期の回顧と下期の展望

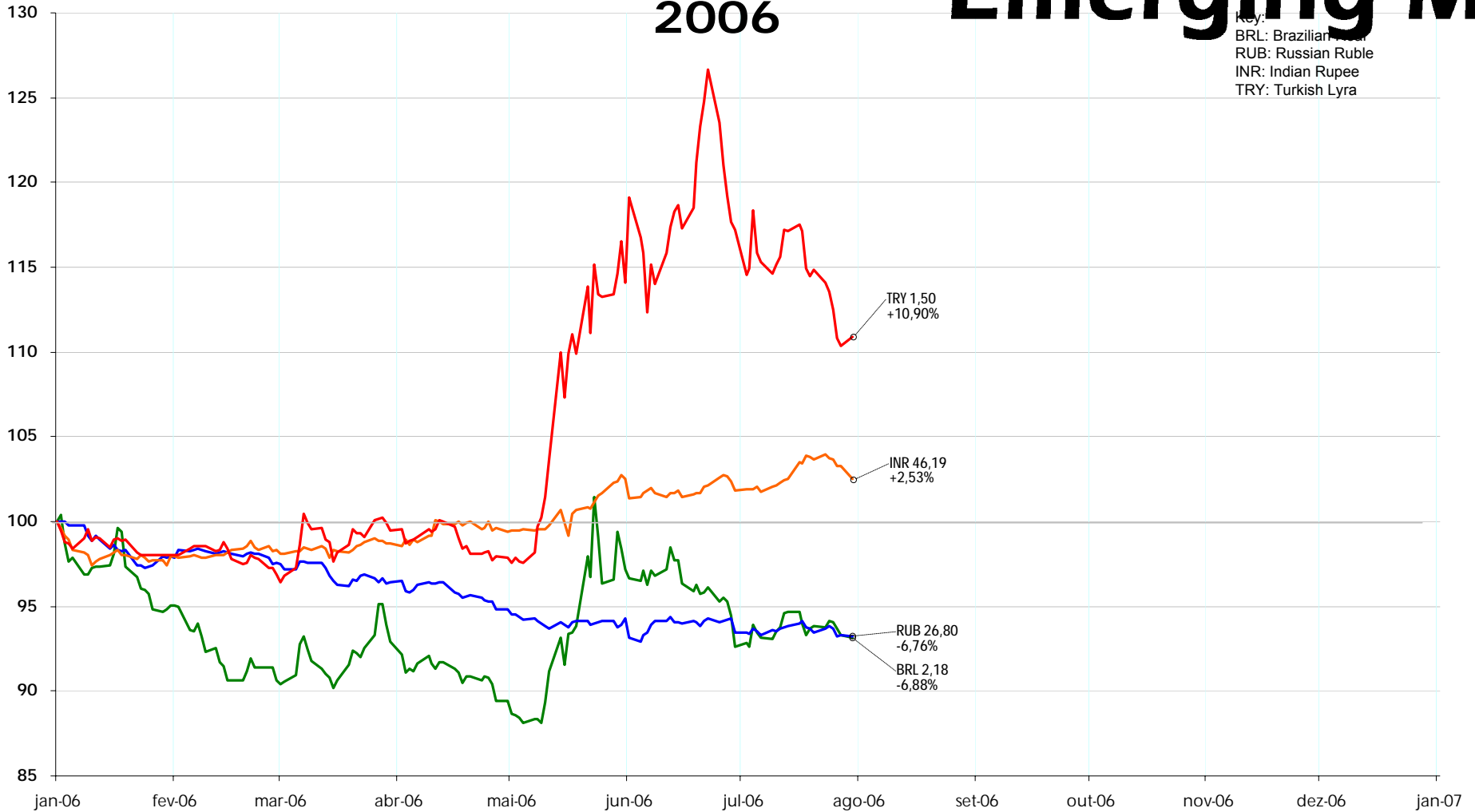


1 August, 2006

Emerging M.

Key:
BRL: Brazilian
RUB: Russian Ruble
INR: Indian Rupee
TRY: Turkish Lyra

2006



TRY 1,50
+10,90%

INR 46,19
+2,53%

RUB 26,80
-6,76%

BRL 2,18
-6,88%

BRL



BRAZIL

RUB



RUSSIA

INR



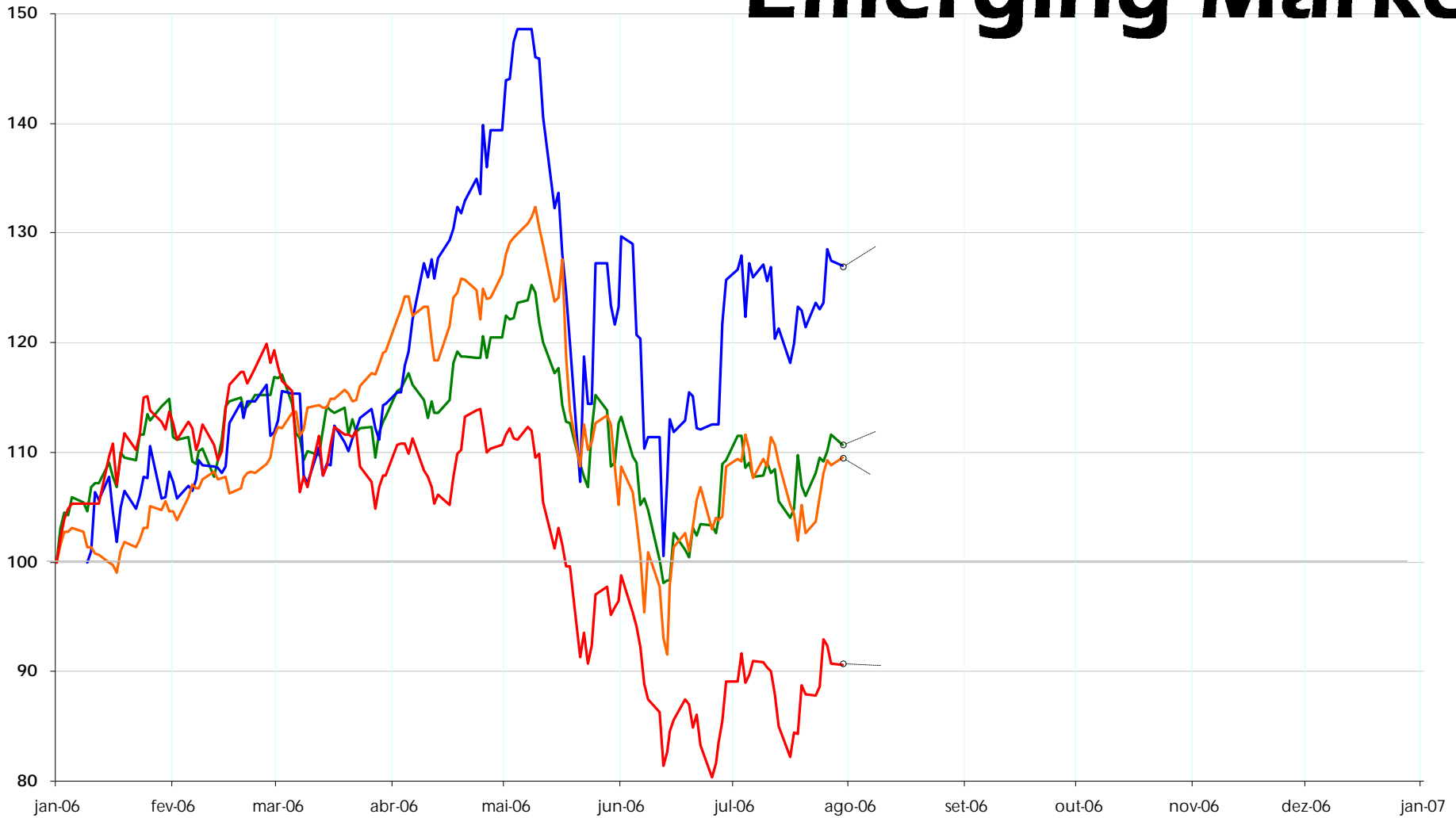
INDIA

TRY

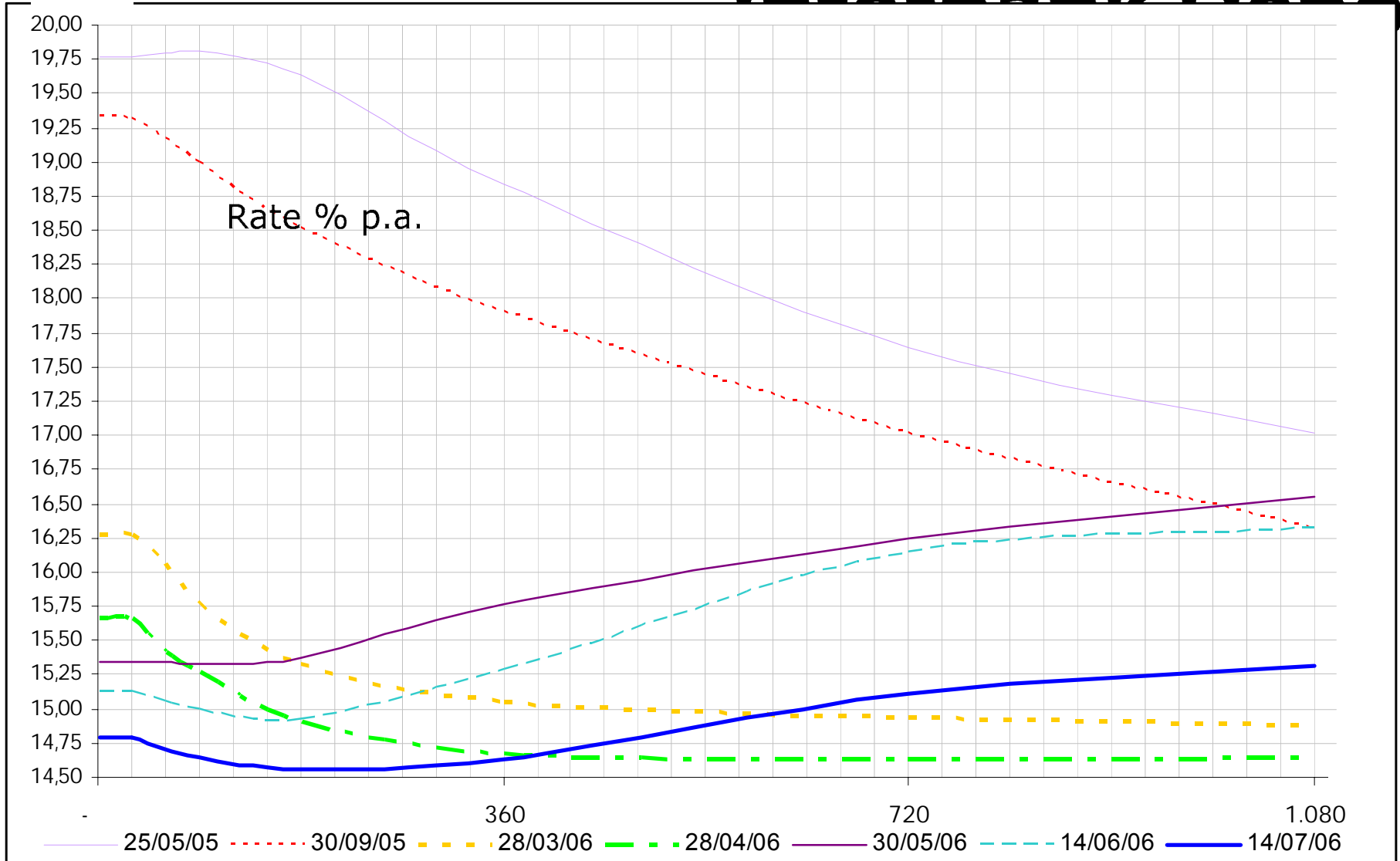


TURKEY

Emerging Markets

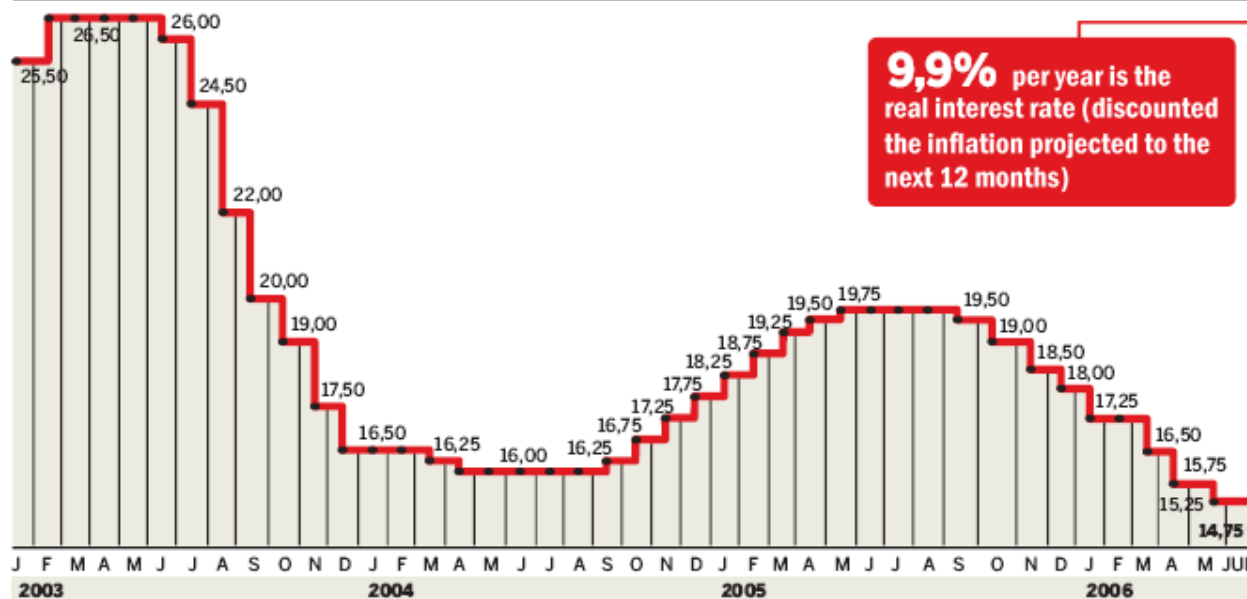


Interbank Depos



Selic rate evolution

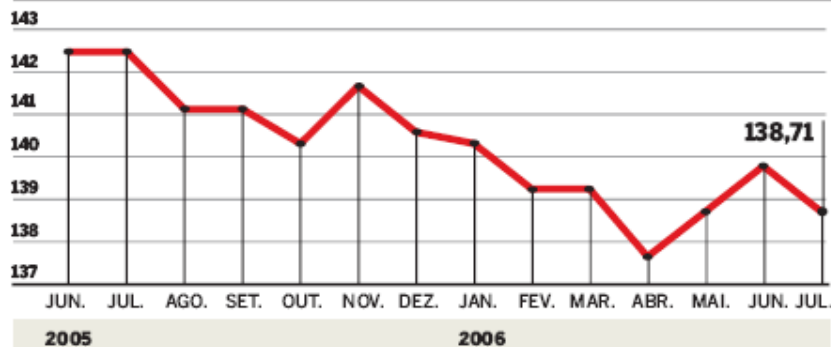
IN PERCENTAGE PER YEAR



9,9% per year is the real interest rate (discounted the inflation projected to the next 12 months)

Consumer finance rate

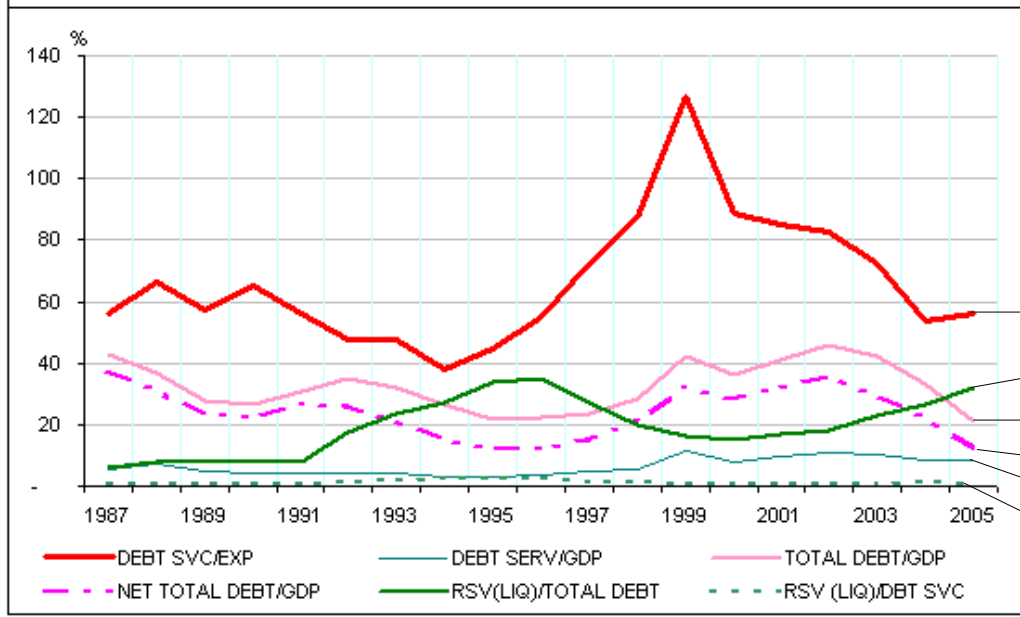
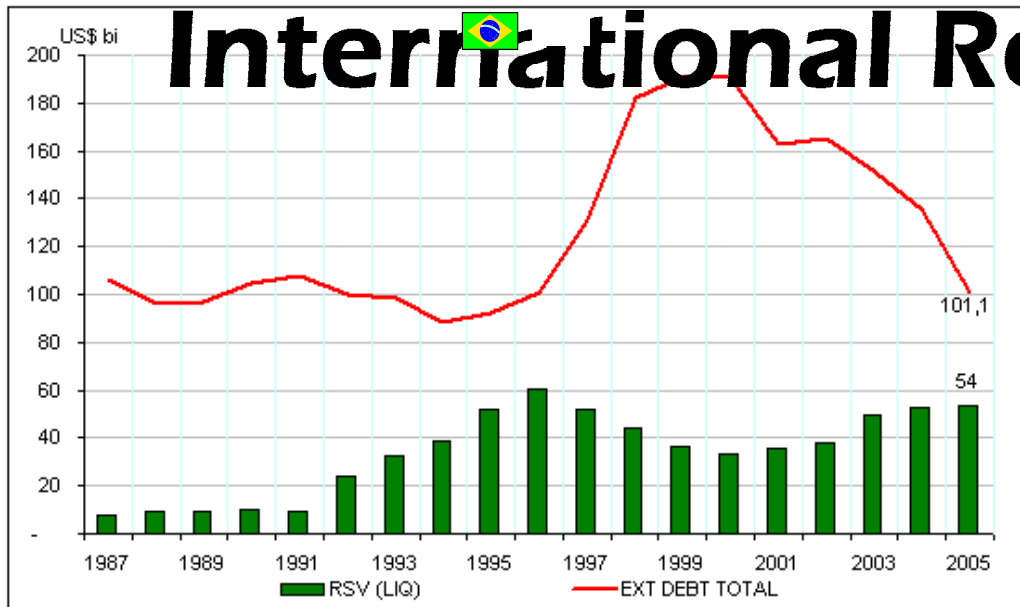
IN PERCENTAGE PER YEAR



Averages

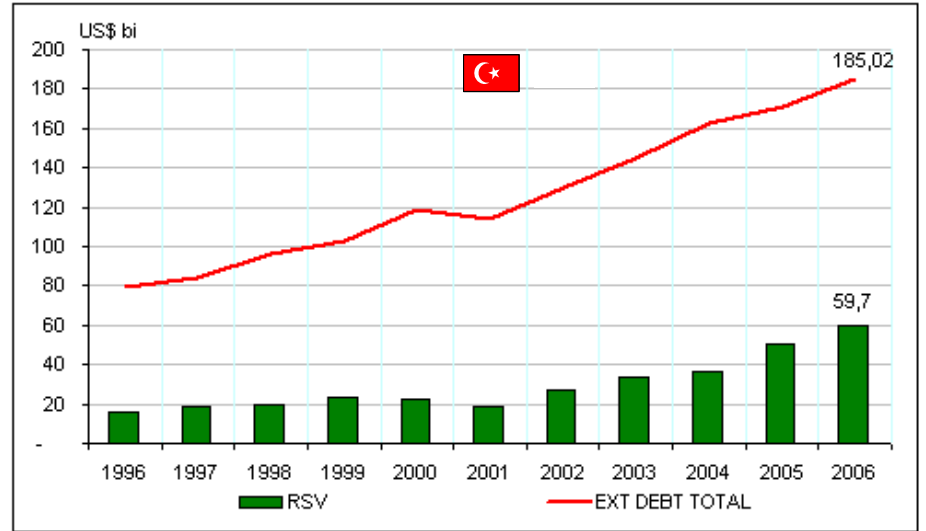
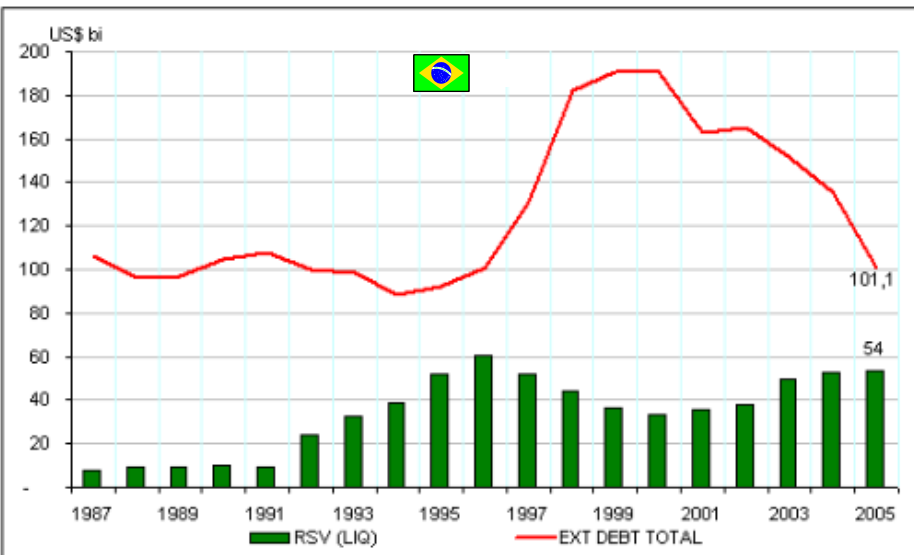
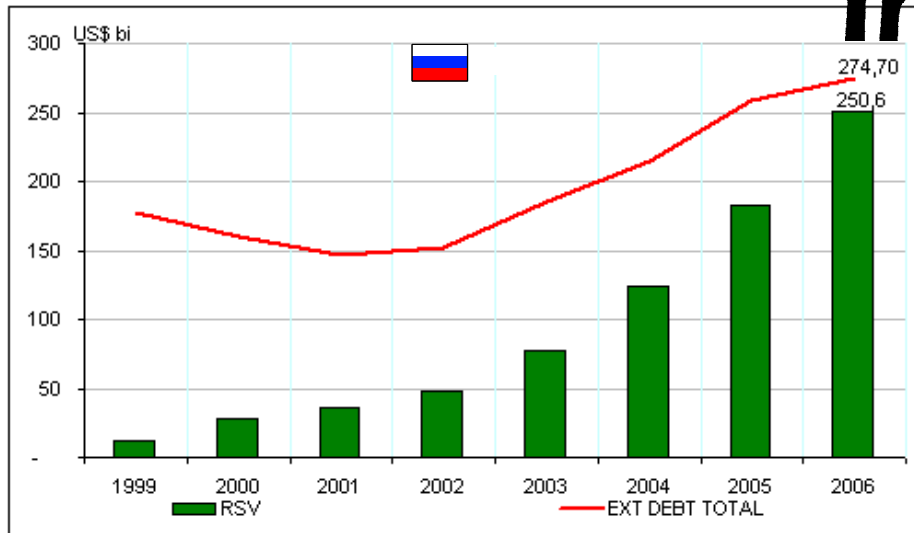
LINES OF CREDIT	CURRENT RATES	NEW RATES
Commerce interest	106,06	105,13
Credit card	226,04	224,62
Special check	154,91	153,78
CDC - Banks	49,71	49,02
Personal loans (banks)	92,51	91,64
Personal loans (consumer finance)	274,43	272,82

International Reserves



- (Red)
- (Green)
- (Pink)
- (Magenta) International Res
- (Cyan)
- (Dark Green)

International Reser



3 . 貿易 部会

中村 純一 部会長

3. Departamento de Comércio Exterior

Presidente: Junichi NAKAMURA

**ブラジル日本商工会議所業種別部会長
シンポジウム 貿易部会資料**

ブラジル日本商工会議所 貿易部会
2006年上半期の実績と通年の見通し

資料：ブラジル開発商工省 「速報ベース」

協力：ジェトロサンパウロセンター

ブラジルからの輸出

主要品目別 (単位:100万ドル)	05年(1~6月)	06年(1~6月)		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額	53,677	60,901	100.0	13.5
一次産品	14,816	17,043	28.0	15.0
半製品	7,815	8,345	13.7	6.8
工業製品	30,021	34,057	55.9	13.4
その他	1,025	1,456	2.4	42.0

主要国別 (単位:100万ドル)	05年(1~6月)	06年(1~6月)		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸出総額	53,677	60,901	100.0	13.5
米国	10,739	11,208	18.4	4.4
アルゼンチン	4,549	5,308	8.7	16.7
中国	2,709	3,659	6.0	35.1
ドイツ	2,378	2,620	4.3	10.2
オランダ	2,455	2,544	4.2	3.6
メキシコ	1,955	2,143	3.5	9.6
日本	1,633	1,799	3.0	10.1
イタリア	1,636	1,780	2.9	8.8
チリ	1,486	1,717	2.8	15.6
ベネズエラ	1,017	1,512	2.5	48.6
その他	23,119	26,610	43.7	15.1

ブラジル日本商工会議所業種別部長シンポジウム貿易部会資料

ブラジルへの輸入

主要品目別 (単位:100万ドル)	05年(1~6月)	06年(1~6月)		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額	34,023	41,360	100.0	21.6
資本財	7,045	8,865	21.4	25.8
原材料及び中間財	17,98	20,355	49.2	13.2
消費財	3,819	5,214	12.6	36.6
非耐久消費財	2,114	2,638	6.4	24.8
耐久消費財	1,703	2,576	6.2	51.3
燃料及び潤滑油	5,181	6,926	16.7	33.7

主要国別 (単位:100万ドル)	05年(1~6月)	06年(1~6月)		
	金額	金額	構成比	伸び率
輸入総額	34,023	41,360	100.0	21.6
米国	6,017	6,717	16.2	11.6
中国	2,273	3,493	8.4	53.7
アルゼンチン	2,984	3,482	8.4	16.7
ドイツ	2,954	3,043	7.4	3.0
日本	1,629	1,892	4.6	16.1
ナイジェリア	1,552	1,648	4.0	6.2
韓国	1,036	1,615	3.9	55.8
フランス	1,415	1,352	3.3	-4.5
アルジェリア	1,078	1,233	3.0	14.4
イタリア	1,152	1,183	2.9	2.7
その他	11,933	15,703	38.0	31.6

ブラジル日本商工会議所業種別部長シンポジウム貿易部会資料

ブラジルの対日主要品目別貿易(06年1月～5月)

単位:100万ドル	輸出			
	05年(1～5月)	06年(1～5月)		
	金額	金額	構成比	伸び率
鉄鉱石	293	390	26.2	33.0
鶏肉	145	248	16.6	1.0
アルミニウム	164	248	16.6	51.2
コーヒー豆	108	109	7.3	0.6
鉄合金	50	65	4.4	29.7
パルプ	51	59	4.0	15.2
エチルアルコール	36	34	2.3	△3.6
ニッケルカソード	37	30	2.0	△17.2
大豆	37	24	1.6	△35.3
オレンジ果汁	27	23	1.6	△13.8
その他	274	261	17.5	△5.0
合計	1,222	1,491	100.0	12.8

単位:100万ドル	輸入			
	06年(1～5月)	06年(1～5月)		
	金額	金額	構成比	伸び率
自動車部品	147	168	10.7	14.7
ベアリング及び歯車・同部品	84	88	5.6	4.8
自動車用エンジン及び同部品	63	72	4.6	13.8
集積回路	58	62	4.0	6.7
測定及び点検機器・装置	37	46	2.9	24.1
建設機械・装置	14	43	2.7	198.2
自動データ処理機部品・アクセサリ	29	42	2.7	43.9
乗用車	51	39	2.5	△24.2
オートバイ部品・アクセサリ	33	36	2.3	8.2
航空機等部品・アクセサリ	18	36	2.3	97.9
その他	787	937	59.7	19.0
合計	1,321	1,570	100.0	18.6

Nakamura-Junichi@spl.marubeni.com

4 . 化学品 部会

板垣 義実 部会長

4. Departamento de Produtos Químicos

Presidente: Yoshimi ITAGAKI

2006年度下期業種別部会長シンポジウム

2006年8月3日

化学品部会

2006年上期の回顧

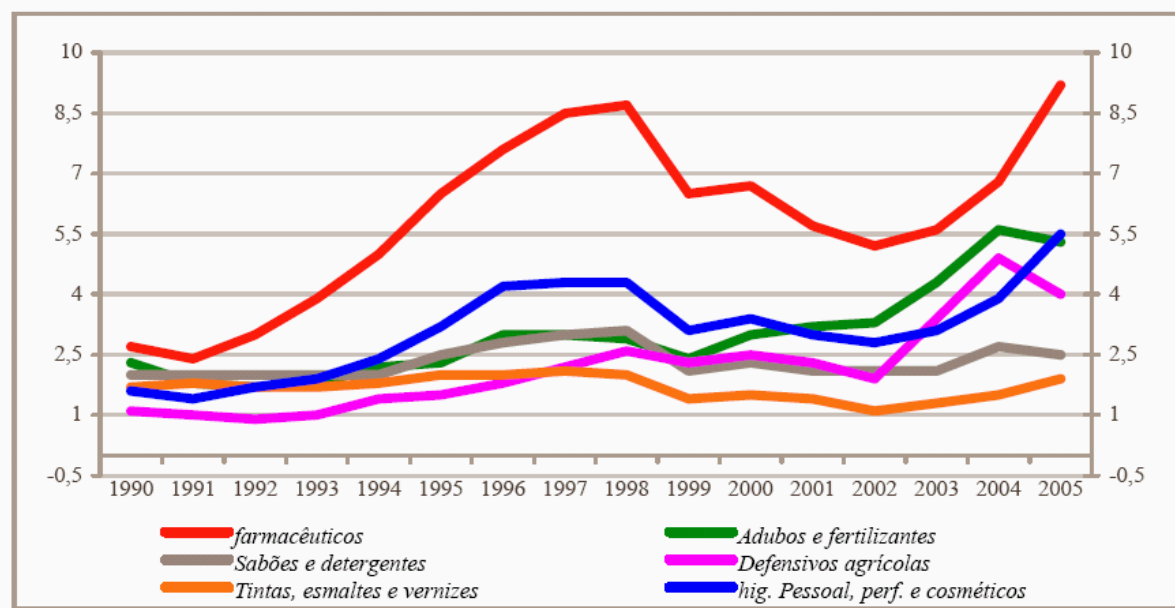
Faturamento líquido da Indústria Química Brasileira (1990 – 2005)

Em US\$ bilhões

Segmentos	1990	1992	1994	1996	1998	2000	2002	2003	2004	2005	% a.a.
<i>Produtos químicos de uso industrial</i>	19,0	17,4	19,2	19,9	18,5	22,8	19,4	24,1	33,0	39,1	4,9
<i>Produtos Farmacêuticos</i>	2,7	3,0	5,0	7,6	8,7	6,7	5,2	5,6	6,8	9,2	8,5
<i>Hig. pessoal, perf. e cosméticos</i>	1,6	1,7	2,4	4,2	4,3	3,4	2,8	3,1	3,9	5,5	8,6
<i>Aubos e fertilizantes</i>	2,3	1,7	2,2	3,0	2,9	3,0	3,3	4,3	5,6	5,3	5,7
<i>Sabões e detergentes ⁽¹⁾</i>	2,0	2,0	2,0	2,8	3,1	2,3	2,1	2,1	2,7	2,5	1,5
<i>Defensivos agrícolas</i>	1,1	0,9	1,4	1,8	2,6	2,5	1,9	3,4	4,9	4,0	9,0
<i>Tintas, esmaltes e vernizes</i>	1,7	1,7	1,8	2,0	2,0	1,5	1,1	1,3	1,5	1,9	0,7
<i>Outros</i>	1,4	1,5	1,6	1,5	1,7	1,4	1,5	1,6	1,8	2,0	2,4
TOTAL	31,8	29,9	35,6	42,8	43,8	43,6	37,3	45,5	60,2	69,5	5,4

Fontes: ABIQUIM e associações dos segmentos.

⁽¹⁾ O faturamento de 1990 a 1994 foi estimado pela ABIQUIM em US\$ 2 bilhões.

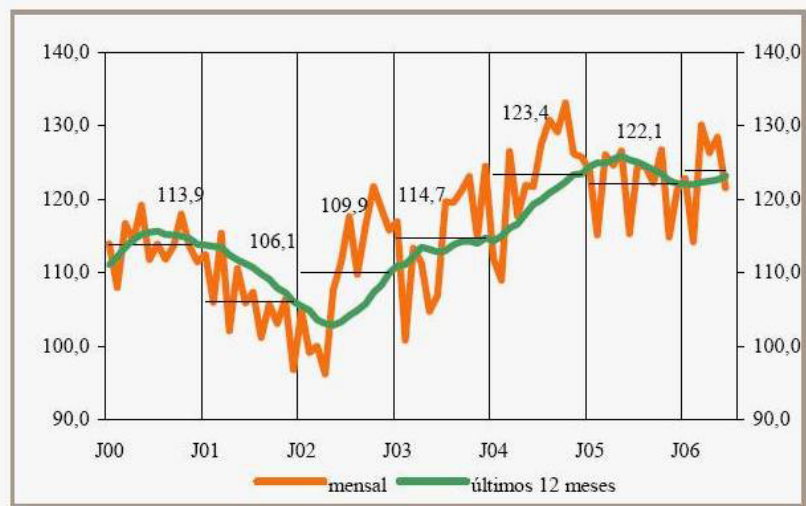


Índice Geral de Quantum da Produção

(Em %)

	<i>IGQ-P Abiquim-FIPE</i>
2004 / 2003	7,58
2005 / 2004	-1,04
maio 2006	1,68
junho (*)	-5,37
junho 2006 (*) / junho 2005	5,39
2º trim. 2006 (*) / 1º trim. 2006	2,49
1º sem. 2006 (*) / 1º sem. 2005	1,62
1º sem. 2006 (*) / 2º sem. 2005	1,27
últimos 12 meses (*)	-1,76

BASE: DEZ 1998 = 100



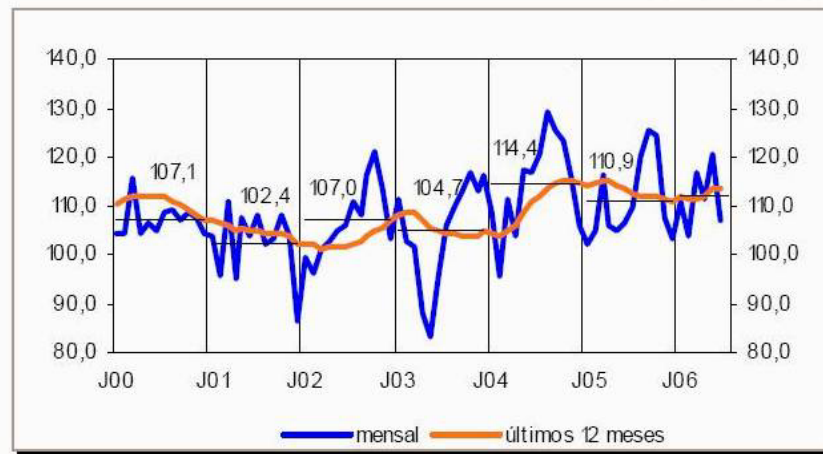
Junho de 2006: preliminar

Índice Geral de Quantum das Vendas Internas

(Em %)

	<i>IGQ-VI Abiquim-FIPE</i>
2004 / 2003	9,25
2005 / 2004	-3,07
maio 2006	7,88
junho (*)	-11,01
junho 2006 (*) / junho 2005	0,41
2º trim. 2006 (*) / 1º trim. 2006	2,23
1º sem. 2006 (*) / 1º sem. 2005	4,60
1º sem. 2006 (*) / 2º sem. 2005	-2,85
últimos 12 meses (*)	-0,05

BASE: 1997 = 100



Junho de 2006: preliminar.

農薬業界

1 - 5月 農薬販売 昨年比18%減

- 1) ドル安、大豆など輸出作物価格低下
- 2) 農家の経営状況悪化
農薬使用量節約
病害虫発生まで使用見合わせ
- 3) 昨年の旱魃により代金未払い農家が多く、メーカーも販売しにくい。
- 4) サトウキビ栽培好調なるも、病害虫に強く除草剤しか使わない。

飼料添加物

販売増なれど損益はマイナス

- 1) 鳥インフルエンザ渦で欧州で鶏肉を敬遠する動きあり輸出30%減。
- 2) レアル高で市場価格低迷。
原料高でFOB価格上昇し付加価値の低下。
- 3) 飼料の大豆、トウモロコシは価格が下がっている為、飼料添加物使用量は増加。
(従って卵、鶏肉は美味しい筈)

筆記具

上期業績良好

- 1) レアル高が奏功し、輸入原材料の価格低下。
- 2) 新製品の市場投入による販売増
- 3) 大統領選挙の年は筆記具が売れるジンクス
- 4) 心配された中国製廉価品の影響は少ない

化粧品

低中価格化粧品が業界を牽引

- 1) 業界全体の業績は好調堅持。
AVON、NATUREなどの訪問販売、ボチカリオなどの低価格帯の販売好調で業界を牽引。
- 2) 輸入依存度の高い資生堂など高級ブランドは3月以降に発生した税関ストの影響で苦戦
- 3) 昨年下期の税関ストで在庫が本年2月まで遅延。その分が今期販売に上乗せできた。

外用消炎鎮痛剤(サロンパス)

ブラジルの医薬品販売は好調
サロンパスも好調

- 1) ANVISAの3.64 ~ 5.51%小売
価格値上げ決定に伴い値上げ
- 2) レアル高で輸入原材料の為替
差益
- 3) チェーン薬局の増加、積極的
広告展開、代理店施策の強化
で販売増

食品添加物(食品香料)

勝ち組と負け組みの二極化

- 1) 大手量販店主導の価格競争に
より売上維持、利益確保が困難
な状況に。収益性での差で
勝ち組みと負け組みに。
- 2) 主要原料エチルアルコールの
16%値上げ。
ANVISAの長期ストによるコスト
アップ。
- 3) Wカップが期待に反し追い風には
ならず、ビールとアモンドイン
以外は底上げ効果は無し。

ロジン(松脂)

塗料・ワニス、紙のにじみ防止剤、化粧品などの原料

需要量減少、輸出減少で苦戦

- 1) ロジン輸出 昨年比25%減
- 2) 期待したトラフィックペイント塗料が雨多く需要減
- 3) 製紙工場向けにじみ防止剤需要減。
- 4) 原料である生松脂価格上昇なるも、価格競争で製品価格に転嫁できず。

プラスチック着色・着色剤

文房具、化粧品、自動車部品、日用雑貨などの着色・着色剤

増収増益。昨年比2桁伸展！

- 1) 主要ユーザーの自動車、化粧品業界の他、文房具業界も好調。
- 2) ドル安、超安価な中国製の流入で家庭用品、雑貨、家電、建設資材向け販売が減少。
- 3) 安価な輸入品に対抗する為、自社着色に切り替えた樹脂メーカーも多く、今後の需要が懸念される。

接着剤・シール材

自動車・二輪車向け販売が好調

- 1) 大衆向け瞬間接着剤
販売数量昨年比10%増なるも
シェア減少し20%台へ。
- 2) 自動車・二輪・自動車部品業界へ
の販売好調で昨年比20%増。
- 3) 電機、機械工具分野への販売は
微増。
- 4) メンテナンス分野は昨年来の農機具
業界不振で20%減

2006年下期の展望

農薬・飼料添加物

- 1) 大豆作付面積10%減(200万ha)。 棉作付面積(昨年30%減)回復傾向も完全ではなく、これに輸出作物価格低下により農薬は苦戦を予想。販売額として昨年比10%減と予測。
- 2) 南部で発生したニューカッスル病と折からの鳥インフルエンザの影響が飼料添加物販売の懸念材料。しかし過剰供給気味であった業界で一社製造を中止した為、品薄感から市況は好転すると期待。

筆記具

- 1) 国内販売中心でドル安の影響をあまり受けない。
- 2) 新商品の販売が本格化することから比較的順調と予想。

化粧品

- 1) 新商品を多数発売予定であるが、輸入の為税関ストが懸念材料。地場企業は通関トラブルの影響がない為、引き続き業界をリードする。

外用消炎鎮痛剤(サロンパス)

- 1) 下期に新商品を発売予定。
また9月末にバレーボール・サロンパスカップ開催予定で販売伸展を見込む。
- 2) 懸念材料として、ANVISAによる医薬品プロモーション規制強化実施。
有名タレントなどの登用が出来なくなる。

食品添加物(食品香料)

- 1) 希少価値の調香師(フーバーリスト)や有能な営業の引き抜き合戦の懸念。
ANVISAの長期ストライキ、大統領選の影響が懸念される。
- 2) 上記悪影響がなければ、消費者需要の拡大が期待でき業績好転と予測。

ロジン(松脂)

- 1) 大統領選挙に向け道路補修等の公共事業増加が期待。トラフィックペイントの受注も増加傾向。
- 2) 製紙業界の操業率上昇が見込まれ、にじみ防止剤の販売好転期待。
- 3) 中国産ロジン価格が値下がり。ブラジル産の輸出価格への影響必死。

プラスチック着色・着色剤

- 1) 自動車・二輪車は堅調と予想され、化粧品業界の各種イベント・プロモーション、またクリスマス商戦も販売増を後押し。
- 2) 昨今、地方都市に小規模の同業者が急増し、安価、即納を売りにしてシェアを伸ばしている。これによって減少した製造キャパの余剰部分の対策が必要。

接着剤・シール材

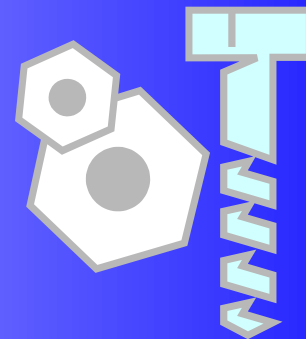
- 1) 工業用接着剤・シール材はメインユーザーである自動車・二輪、自動車部品、電気、家電、携帯の各業界が好調を堅持すると予想され、販売は上期同様に伸展すると予測。
- 2) 大衆用瞬間接着剤は廉価版の横行、安い中国製の拡販が予想され、また大手競合の値下げもあり下期も苦戦すると予想

5 . 機械金属 部会

嶋末 繁 部会長

5. Departamento de Metalmeccânica

Presidente: Shigeru SHIMASUE

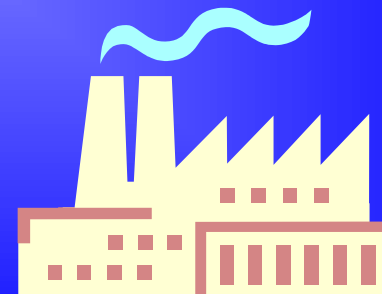
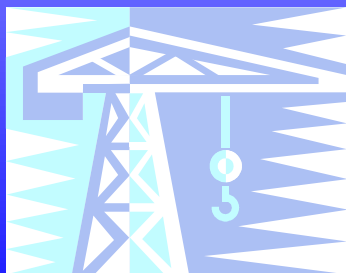


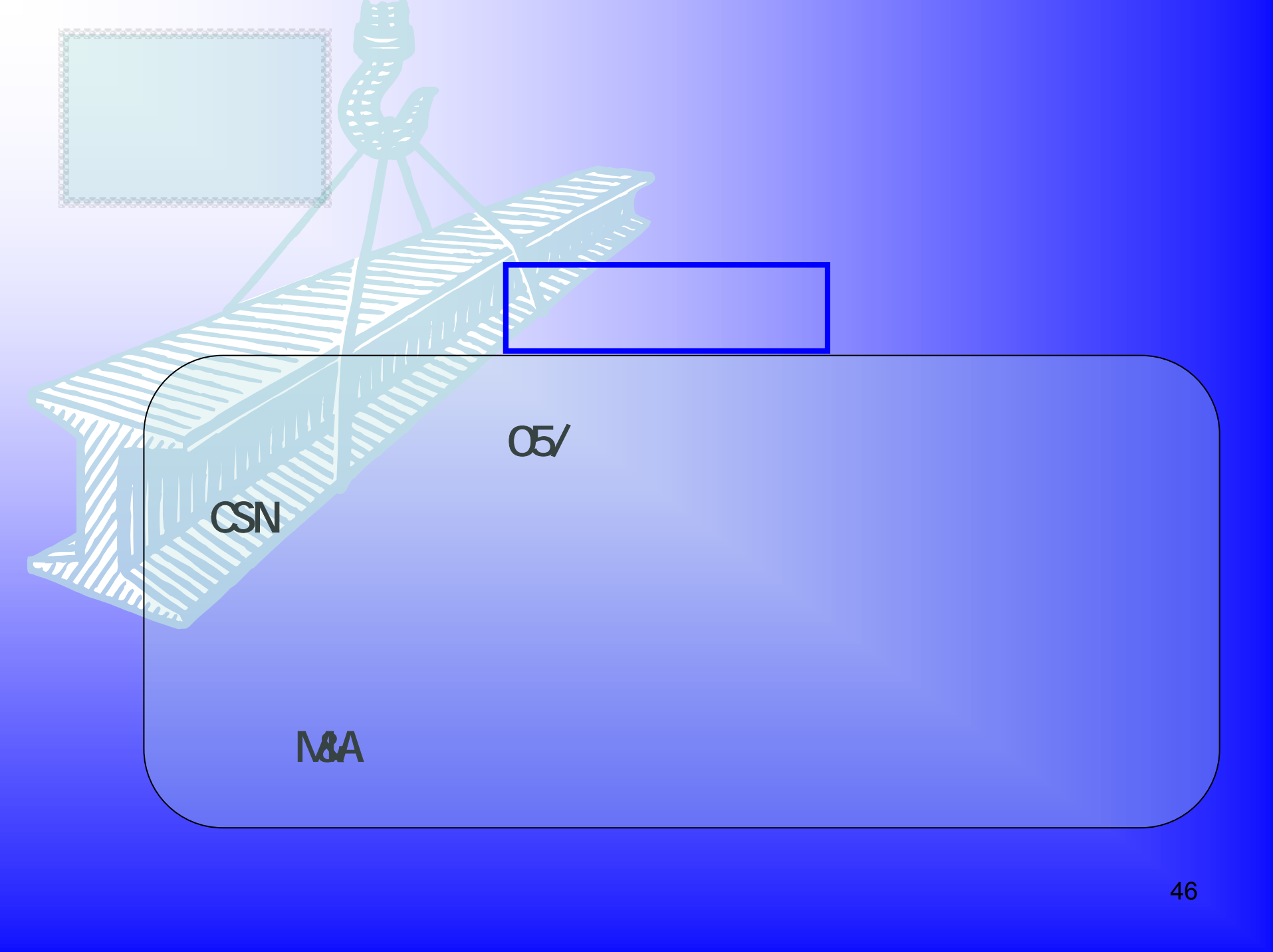
業種別部会長シンポジウム

機械金属部会

「2006年上期の回顧と下期の展望」

2006年8月3日



- 
- ・製鉄
 - ・鋼材

下期の展覧

- ・国内需要荷重は傾向は減産したが順調に回復
- ・国際相場は停止を考へ調整作業であった
- ・産機の輸動率波瀾要因船、農機、建設は減
- ・国際相場鉄急騰の暴騰を国内相場値追いつめた
- ・大型M&A で鉄鋼再編に注目

- ・電力
- ・プラント

下期の展覧

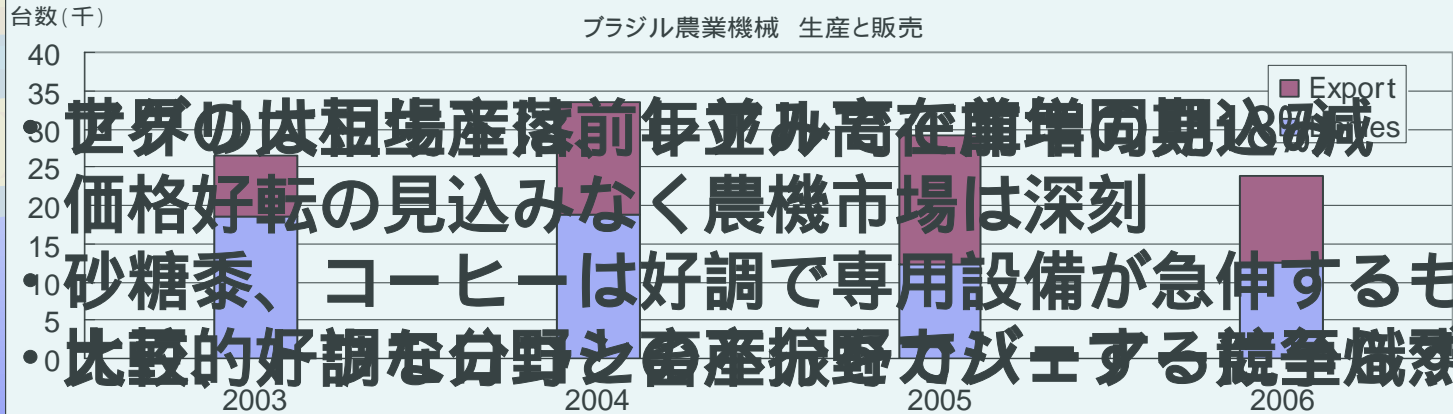
- ・発電機・送電機・国内送電機投資は活発/機器商談に対応
- ・紙・油・化学・鉄鋼の動向に各企業は増産投資プラント(含むボイラ)、各種機器の商談が活発
- ・チリ、アルゼンチンで発電、石油化学、紙パに対応

・農機

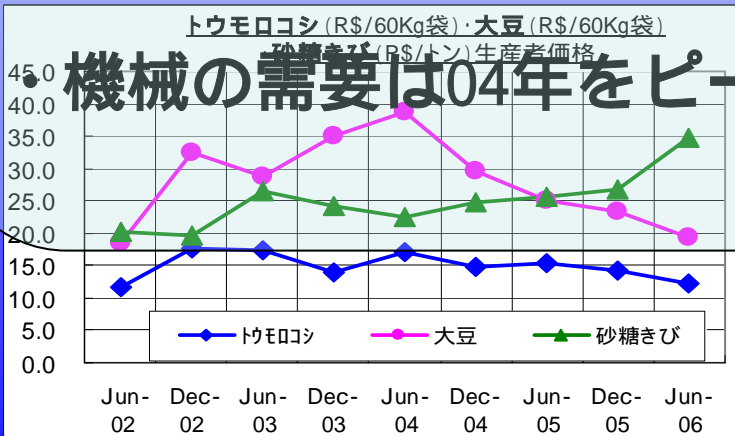
・汎用エンジン

下期の展覧

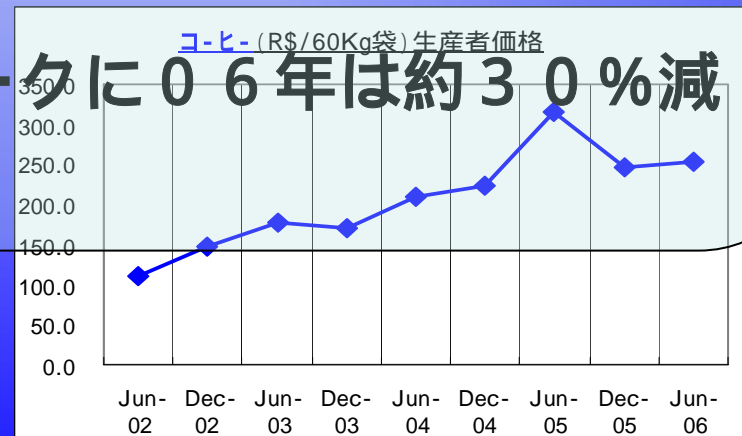
上半期の主要機械合計



世界の米相場産落前年並み高在騰増同期込減
 価格好転の見込みなく農機市場は深刻
 砂糖黍、コーヒーは好調で専用設備が急伸するも
 比較的好調な分野と畜産振野方減する競争熾烈



機械の需要は04年をピークに06年は約30%減



に06年は約30%減



・各種工具



下期の展覧

- ・ 企業顧客の増動車標と輸送連企業は順調分かれる
- ・ 工場類業販礎は第4四半期以降鈍化傾向
- ・ レアル高で輸出は厳しいがアルゼンチン向けに期待

・測定機器

下期の展覧

- ・ 輸型計測機の競型機相産開始が注測定工具は輸入品(中国製品)に押されて減少傾向
- ・ 一部自動車メーカーのリストラに注意
- ・ グループ向け輸出は底堅いが採算が厳しい
- ・ 目標の25%売上げ増は達成



・軸受

下期の展覧

- ・ 需要は前年並維持はなく現レベルで我慢が続く
- ・ 操業度維持のため輸し鉞が輸出船業と補修需要
- ・ 低調：農機、電機、家電
- ・ 為替の影響で国産の競争力は厳しく採算悪化



・ネジ

下期の展顧

- ・ 自動車経済輪動が期待年同期前年同期比伸び10%の伸びを見込む
- ・ 電気・電子業界は売上げ増だが中国製品に代替され生産・販売の伸びは9%弱に留まる



・潤滑油

下期の展顧

- ・ 減景気減継続見込毎同期比21%の伸び
- ・ 輸出比重大企顧客内低販売経済政策替の影響？)
- ・ 原油高とレアル高で販売価格・利益共に横這い

コーヒーブレイク

COFFEE BREAK

6 . 纖維 部会

今西 暉夫 部会長

6. Departamento de Fiação e Tecelagem

Presidente: Teruo IMANISHI

2006年上期の回顧と下期の展望

繊維部会

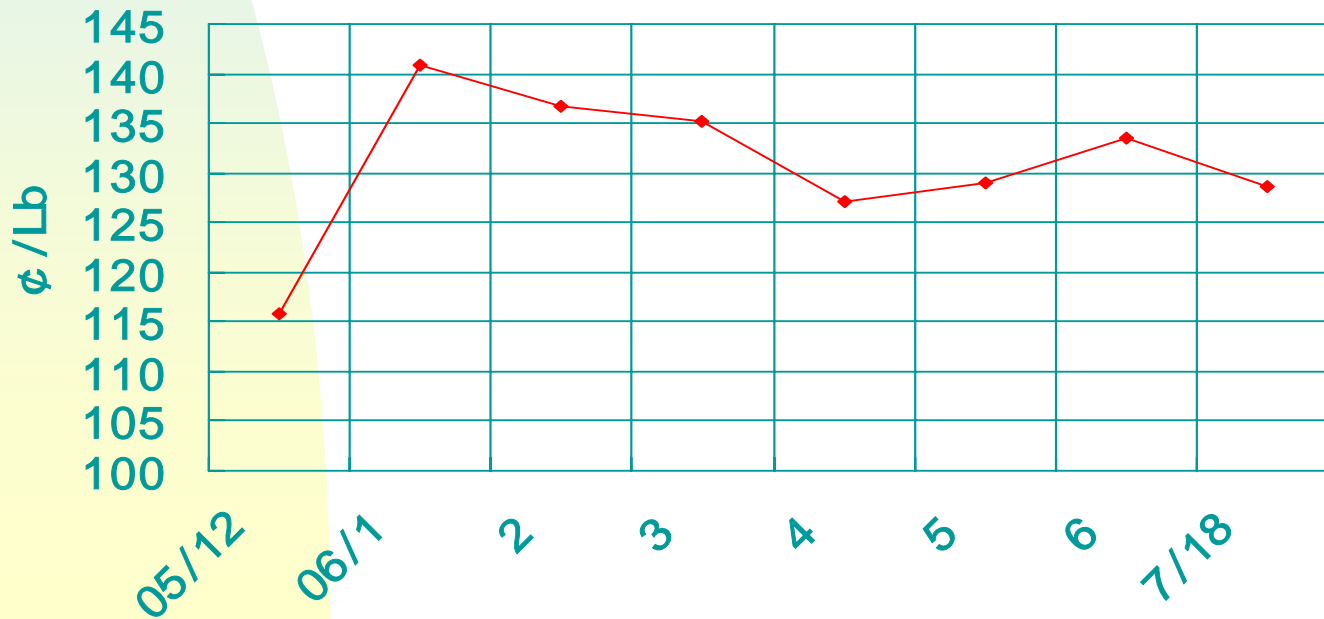
1. 纖維原料

1-1. 国内綿花

(千トン)

	2004/2005年	2005/2006年
生産	1,298	1,048
輸入	37	118
消費	910	880
輸出	391	392
期末在庫	275	169

綿花相場(ESALQ)



1-2. 国際綿花

綿花相場

	NY定期(2006年7月限)			リバプール・インデックス	
	月末引値	月間安値	月間高値	A	B
2006年1月	58.23	56.30	58.70	59.45	57.35
2006年2月	56.67	56.26	59.30	59.55	57.10
2006年3月	54.60	53.62	56.57	58.40	56.50
2006年4月	51.72	50.75	55.85	56.62	55.03
2006年5月	50.94	49.17	51.65	56.70	54.15
2006年6月	49.75	46.12	52.92	55.25	52.65
6ヶ月平均	53.65	52.04	55.83	57.66	55.46

世界綿花需給予想

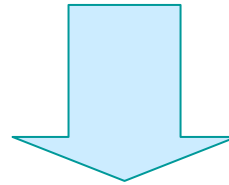
(2006年7月12日米農務省発表)

単位: 100万俵 (480ポンド俵)

06/07年度	季初在庫	生産	輸入	国内消費	輸出	季末在庫	在庫率
世界	53.0	114.4	43.9	121.8	43.4	47.5	39.0%
米国	6.5	20.5	0.0	5.5	16.6	4.9	
中国	13.0	27.5	20.0	51.0	0.0	11.0	
ブラジル	3.8	5.5	0.5	4.2	1.5	4.1	
05/06年度	季初在庫	生産	輸入	国内消費	輸出	季末在庫	在庫率
世界	54.0	114.1	43.8	116.8	43.3	53.0	45.4%
米国	5.5	23.9	0.0	6.0	17.0	6.5	
中国	13.1	26.2	19.0	46.5	0.0	13.0	
ブラジル	5.1	4.7	0.2	4.2	2.1	3.8	

1-3. 合成繊維

- ポリエステル繊維の高止まり
- ポリエステル・フィラメント輸入減

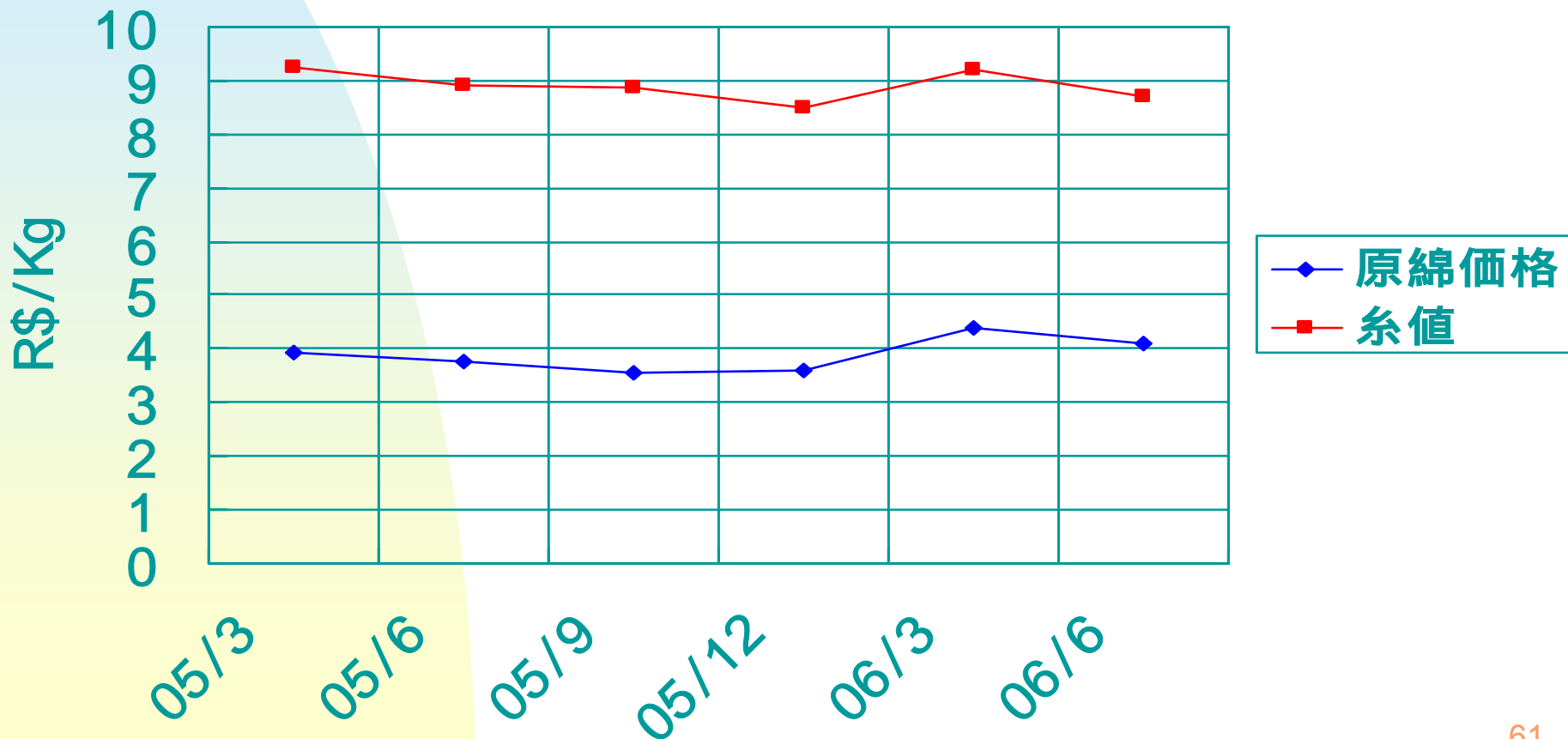


- 天然繊維回帰

2. 糸

2-1. 国内綿糸

綿糸(コーマ30)価格推移



2-2. 国内販売(空紡糸)

2006年1~5月 輸出入 前年比増減						
	綿糸	綿布	綿編物	綿縫製	綿衣料	綿日用品
輸出	-9%	-8%	-0.5%	-26%	-40%	+12%
輸入	+80%	+151%	+348%	+159%	+221%	+73%

上期要因

- 1) 選挙資金の制限
- 2) レアル高
- 3) 前年冬物在庫残
- 4) W杯

下期要因

- 1) 公共支出増
- 2) 最低賃金引上げ
- 3) 原綿価格
- 4) 為替
- 5) 空紡細番手需要

2-3. 綿糸輸出

輸出実績

年度	実績	数量		金額	
		(トン)	前年比	(千 US\$)	前年比
2001年	(1/12月)	16,993	-	39,765	-
2002年	(1/12月)	26,108	+ 53.6%	55,904	+ 40.6%
2003年	(1/12月)	45,903	+ 75.8%	102,436	+ 83.2%
2004年	(1/12月)	27,757	39.5%	76,874	25.0%
2005年	(1/12月)	25,018	9.9%	60,668	21.1%
2005年	(1/5月)	10,502	21.0%	26,348	30.9%
2006年	(1/5月)	9,533	9.2%	24,248	8.0%

3. 布帛

3-1. 薄地織物

上期の特徴

- 輸入縫製品は大きな影響なし
- 合繊価格アップにより綿生地が伸びた
- 冬物店頭在庫減少
- レアル高で輸出減少

下期の特徴

- 大きな流れは上期同様

3-2. 厚地織物および織物輸入

上期

- 購買力低下
- 集客力低下
- W杯期待外れ
- 製品輸入増

- 天然繊維指向
- 冬物販売増

下期

- 冬物一掃による春夏物の早期スタート

厳しい市況であった

4. ファスナー

上期

不調に終わった

- 衣料メーカーの生産本格化の遅れ
- 衣料品の輸出減輸入増
- ブーツの米国向け減少

- ジーンズ用は堅調
- アルゼンチン、チリの消費は順調

下期

- 新商品(スライダー)への期待
- ジーンズ、靴分野への販売増期待



終り

ご静聴有難うございました。

繊維部会



參考資料編

景況 評価

	前年対比	景況	
		2006年上期	2006年下期
纖維原料	国内綿花	↘	↘
	国際綿花	↗	↗
	合成纖維	↘	↘
糸	国内販売	→	→
	国内(空紡)	↘	→
	綿糸輸出	↘	↘
布帛	薄地織物	→	→
	厚地織物	↘	↘

貿易相手国(繊維合計)

輸入元	2005年1～6月		2006年1～6月	
	百万U\$	Ton	百万U\$	Ton
中国	163	53,938	274	82,045
米国	69	29,155	100	43,228
インドネシア	46	29,268	94	53,946
アルゼンチン	70	25,281	66	21,086
台湾	44	25,133	57	33,845
韓国	50	20,063	48	17,020
インド	37	22,181	46	22,833
総合計	735	284,669	988	362,549

輸出先	2005年1～6月		2006年1～6月	
	百万U\$	Ton	百万U\$	Ton
米国	252	57,913	232	64,740
アルゼンチン	208	61,685	230	68,327
チリ	33	9,298	34	8,135
中国	15	17,461	32	31,588
コロンビア	25	5,358	31	6,965
メキシコ	24	7,058	29	5,766
日本	24	9,805	26	7,449
総合計	984	284,187	986	331,207

対日繊維輸出 (Br Jp)

		2003			2004		
	Descricao	1000 FOB	Ton	US\$/Kg	1000 FOB	Ton	US\$/Kg
	対日繊維輸出総合計	45,956.73	22,415.05	2.05	68,232.20	32,688.14	2.09
	1. 原料繊維 Fibras Têxteis	23,977.23	21,226.12	1.13	40,148.36	31,510.80	1.27
対	1.09. 綿花 Algodão	23,483.83	21,002.05	1.12	39,900.12	31,252.02	1.28
	2. 糸 Fios	18,261.71	1,016.44	17.97	24,115.53	997.58	24.17
日	2.1. 絹 Seda	17,864.95	830.75	21.50	23,836.94	893.66	26.67
	3. フィラメント Filamentos	37.83	0.70	54.12	0.00	0.00	0.00
輸	4. 布帛 Tecidos	88.84	6.95	12.78	293.02	26.51	11.05
	5. 縫糸 Linhas de Costura	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
出	6. 縫製品 Confecções	3,436.59	158.41	21.69	3,534.21	133.82	26.41
	6.1. 衣服 Vestuário	2,408.07	60.57	39.76	2,825.56	67.48	41.87
	6.1.1. メリヤス衣料 Vestuários de Malha	1,631.56	41.06	39.73	1,708.61	40.88	41.79
	6.1.1.1. 綿 Algodão	929.04	27.80	33.42	941.77	29.27	32.17
	6.2. 寝具類 Roupas de cama, mesa e banho	967.12	95.54	10.12	667.97	64.20	10.40
	6.2.1 綿 Algodão	966.10	95.46	10.12	667.97	64.20	10.40
	7. その他製品 Outras Manufaturas	154.52	6.43	24.04	141.08	19.44	7.26

ブラジル綿糸輸出入分析(1)

1. 綿糸の輸出入相手国						
綿100%系、綿/Ess混紡系						
(1) 輸入						
輸入先	2001年 トン	2002	2003	2004	2005	2006 1~6月
インド	436	118	95	407	2,678	2,241
アルゼンチ	1,059	537	117	1,298	2,087	977
パキスタン	2	0	0	0	85	787
パラグアイ	131	199	86	425	917	696
エジプト	520	410	436	606	762	393
ホンコン	0	0	0	0	32	269
ペルー	348	182	252	175	193	130
ポルトガル	83	27	16	113	316	123
イタリア	213	231	277	377	137	62
中国	0	0	0	0	33	53
他	148	184	360	284	418	256
合計	2,940	1,888	1,639	3,685	7,658	5,987

ブラジル綿糸輸出入分析(2)

(2)輸出						
輸出先	2001年 トン	2002	2003	2004	2005	2006 1~6月
USA	823	5,948	9,230	8,009	3,476	5,389
アルゼンチ	1,829	1,139	12,179	7,973	14,032	4,331
チリ	3,374	4,230	2,993	2,604	2,708	1,003
ペルー	364	1,327	2,507	2,919	2,659	464
コロンビア	2,157	3,096	2,244	1,401	522	255
ポルトガル	5,582	6,278	8,525	1,952	867	205
ベネズエラ	75	72	28	24	16	113
ドミニカ	903	1,486	960	524	250	87
南アフリカ	389	279	184	0	0	0
カナダ	349	649	696	246	7	5
他	1,148	1,604	6,357	2,106	481	111
合計	16,993	26,108	45,903	27,758	25,018	11,963

ブラジル繊維輸入国分析(1)

2. 主な輸入相手国別分析							NO 2
(1) 中国							
	2001年	2002	2003	2004	2005	2006	
製品別	トン					1~6月	
織物生地	5,528	9,841	25,399	46,470	58,984	37,674	
糸	838	989	1,687	12,728	22,268	24,959	
縫製品	7,131	5,943	5,946	11,803	17,310	9,874	2006年位
他	4,854	8,066	8,230	10,543	11,699	9,538	全輸入量の
計	18,351	24,927	41,286	81,543	11,260	82,045	22.60%
素材別							
綿	1,650	1,888	1,508	4,069	6,693	7,386	
綿/Ess	12	47	108	167	574	840	
合繊他	16,689	22,993	39,670	77,307	102,994	73,818	
計	18,351	24,928	41,286	81,543	110,261	82,044	

ブラジル繊維輸入国分析(2)

(2)インド							
製品別	2001年	2002	2003	2004	2005	2006/1-6	
糸	5,244	18,019	18,671	27,947	38,980	20,899	
織物生地	400	255	473	887	935	532	
縫製品	412	385	334	500	1,020	500	2006年 位 全輸入量の
他	875	727	649	910	1,261	903	
計	6,931	19,385	20,127	30,245	42,196	22,833	6.30%
素材別							
綿	476	383	377	624	1,800	776	
綿/Ess	438	119	95	407	2,679	2,243	
合繊他	6,018	18,884	19,655	29,214	37,718	19,814	
計	6,932	19,386	20,127	30,245	42,197	22,833	

ブラジル繊維輸入国分析(3)

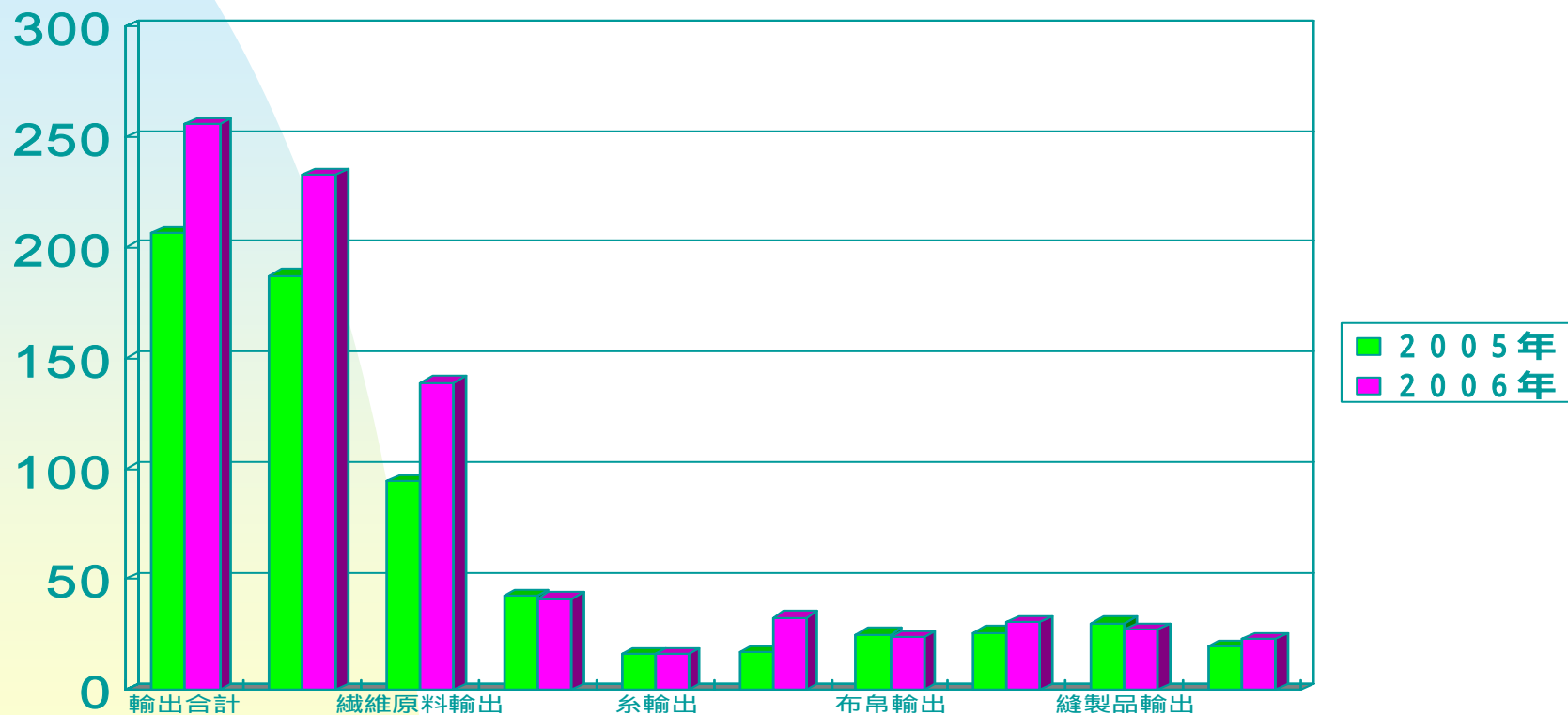
(3) インドネシア							
製品別	2001年	2002	2003	2004	2005	2006/1-6	
糸	23,723	41,326	51,075	65,226	78,887	52,165	
織物生地	2,420	3,116	1,784	1,441	1,620	551	
縫製品	227	220	160	313	373	275	2006年位
他	793	969	1,179	2,076	2,332	955	全輸入量の
計	27,164	45,631	54,198	69,056	83,212	53,946	14.50%
素材別							
綿	198	128	136	248	483	183	
綿/Ess	0	0	1	0	63	53	
合繊他	26,966	45,504	54,062	68,808	82,666	53,710	
計	27,164	45,632	54,198	69,056	83,212	53,946	

1～4月 輸出入実績比較

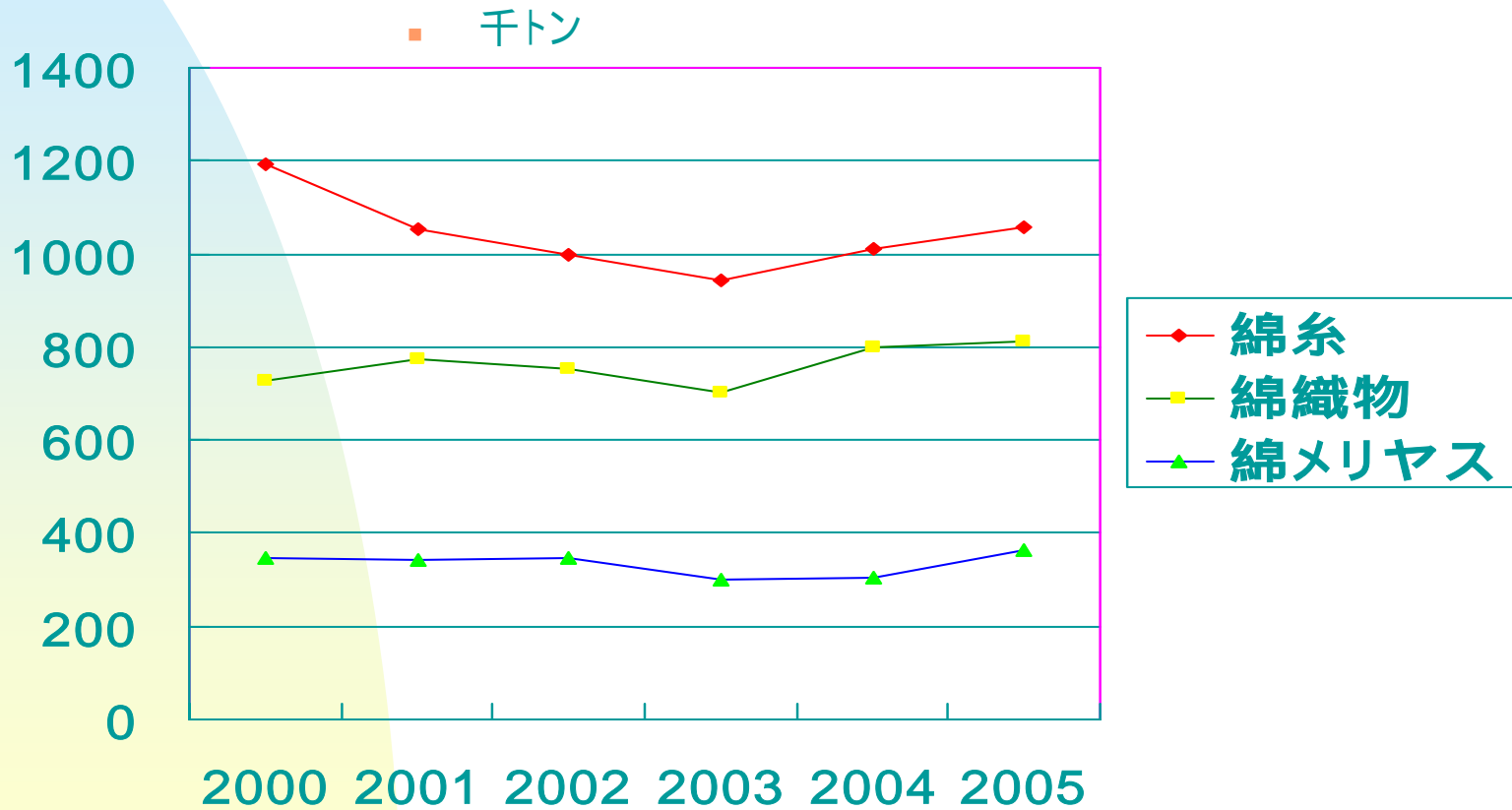
	千トン					
	輸出			輸入		
	1-5月/200	1-5月/200	増減(%)	1-5月/200	1-5月/200	増減(%)
繊維合計	206.3	255.9	24.0%	187.5	233.1	24.3%
繊維原料	94.2	139.1	47.7%	42.3	41.1	-2.8%
綿花	62.7	108.8	73.5%	16.3	17.2	5.5%
糸	16.2	16.2	0.0%	16.9	32.6	92.9%
綿糸	8.1	7.5	-7.4%	2.0	3.4	70.0%
フィラメント	4.9	4.2	-14.3%	62.2	79.9	28.5%
布帛	25.0	24.0	-4.0%	25.8	30.7	19.0%
綿織物	19.2	17.7	-7.8%	1.2	2.9	141.7%
綿編物	2.6	2.5	-3.8%	0.0	0.1	233.3%
縫糸	0.4	0.4	0.0%	0.1	0.1	0.0%
縫製品	30.3	27.2	-10.2%	19.5	22.8	16.9%
綿衣料	2.7	2.1	-22.2%	0.8	2.4	200.0%
綿寝装	16.4	19.1	16.5%	0.2	0.4	100.0%
その他	35.3	44.8	26.9%	20.7	26.0	25.6%
		輸出減、輸入増		輸入増		
		輸出増、輸入減				

繊維業界 1月～4月実績

■ 輸出と輸入実績



生産推移



紡績生産および設備推移

系	千トン					
	2000	2001	2002	2003	2004	2005
綿	1,194.6	1,052.2	996.9	945.0	1,011.7	1059.4
その他の天然繊維	42.6	43.1	44.7	49.0	44.8	34.9
合成繊維	197.1	191.9	175.6	170.4	191.1	190.3
その他	9.7	8.8	8.4	8.4	9.0	9.6
計	1,444.0	1,296.0	1,225.6	1,172.8	1,256.6	1294.2
紡績設備						
	2000	2001	2002	2003	2004	2005
錘数 (千錘)	5,028.8	4,621.3	4,671.9	4,644.9	4,748.5	4747.1
空紡 (千ドラム)	294.4	296.5	296.4	294.3	300.3	309.3
コーマー (台)	6809	6816	6902	7349	7114	7242

織物生産および設備推移

織物	千トン					
	2000	2001	2002	2003	2004	2005
綿	726.1	774.2	754.8	704.0	798.4	813.2
その他の天然繊維	47.5	46.5	48.3	47.4	46.0	41.5
合成繊維	311.1	411.7	416.6	428.1	468.5	459.6
計	1,084.7	1,232.4	1,219.7	1,179.5	1,312.9	1,314.3
織機	台					
	2000	2001	2002	2003	2004	2005
ウォータージェット	307	365	365	365	365	369
エアージェット	6,609	6,880	6,954	7,677	8,189	8,524
自動織機(シャトル)	101,738	78,527	74,059	63,246	53,886	40,151
手織機	834	842	842	842	842	833
グリッパー織機	25,892	25,435	25,333	27,968	28,572	28,772
プロジェクティル織機	5,583	5,690	5,707	5,690	5,767	5,842

メリヤス生産および設備推移

メリヤス	千トン					
	2000	2001	2002	2003	2004	2005
綿	347.8	342.7	345.8	301.1	304.9	364.7
その他の天然繊維	4.3	2.7	1.7	2.1	2.6	2.1
合成繊維	144.9	144.8	129.9	140.6	146.4	187.5
計	497.0	490.2	477.4	443.8	453.9	554.2
編機	台					
	2000	2001	2002	2003	2004	2005
丸編機	8,159	8,179	8,421	8,934	9,141	9,153
横編機	36,399	36,431	37,850	38,543	38,563	39,836
ラッセル	8,031	8,029	8,158	8,158	8,172	8,170

7. 食品 部会

永野 昇二 部会員

7. Departamento de Gêneros Alimentícios

Membro: Shoji NAGANO

8 . 電気電子 部会

松田 雅信 部会長

8. Departamento Eletroeletrônico

Presidente: Masanobu MATSUDA

業種別部会シンポジウム

電気電子部会

2006年8月3日

ブラジル日本商工会議所
電気電子部会

1. 主要商品需要状況（ブラジル国内）

(単位:1000台)

主要品目	2004年	2005年	2006年上	前年上期比
テレビ	7.625	9.592	6.040	+ 40%
DVD	3.768	6.890	3.070	+ 11%
オーディオ	3.042	2.512	627	- 40%
デジタルカメラ	245	360	300	+ 80%
携帯電話	33.000	41.000	14.000	- 25%
電子レンジ	1.142	1.220	800	+ 28%
洗濯機	1.695	1.791	834	- 3%
冷蔵庫	3.543	3.606	1.835	+ 6%
エアコン	1.070	1.095	N/A	
電池	936.000	941.000	462.108	- 6%

ワールドカップで映像商品が大巾伸張

携帯電話は25%のマイナス成長

* テレビ前年同期比 +40% (6040千台)

DVDレコーダー、デジタルカメラ等の

* プラズマTV・LCD前年同期比10倍(152千台)

デジタル商品拡大

白物は前年比 4.6%増

* フラットテレビ構成率 20% → 37%

* 但し足元は流通在庫が過大となっている

2. 部会参加企業の概況

上期：部品系を除きおおむね各社とも業績は好調

下期：現在のところ概ね上期の状況継続を予想する

課題は部品系を直撃した売上に関するPIS/COFFINSの不公平課税

3. 家電流通の状況：二大電気量販店の販売ウエイト更に拡大、 大手スーパーが家電商品の販売体制を強化(スペース、人材面で)

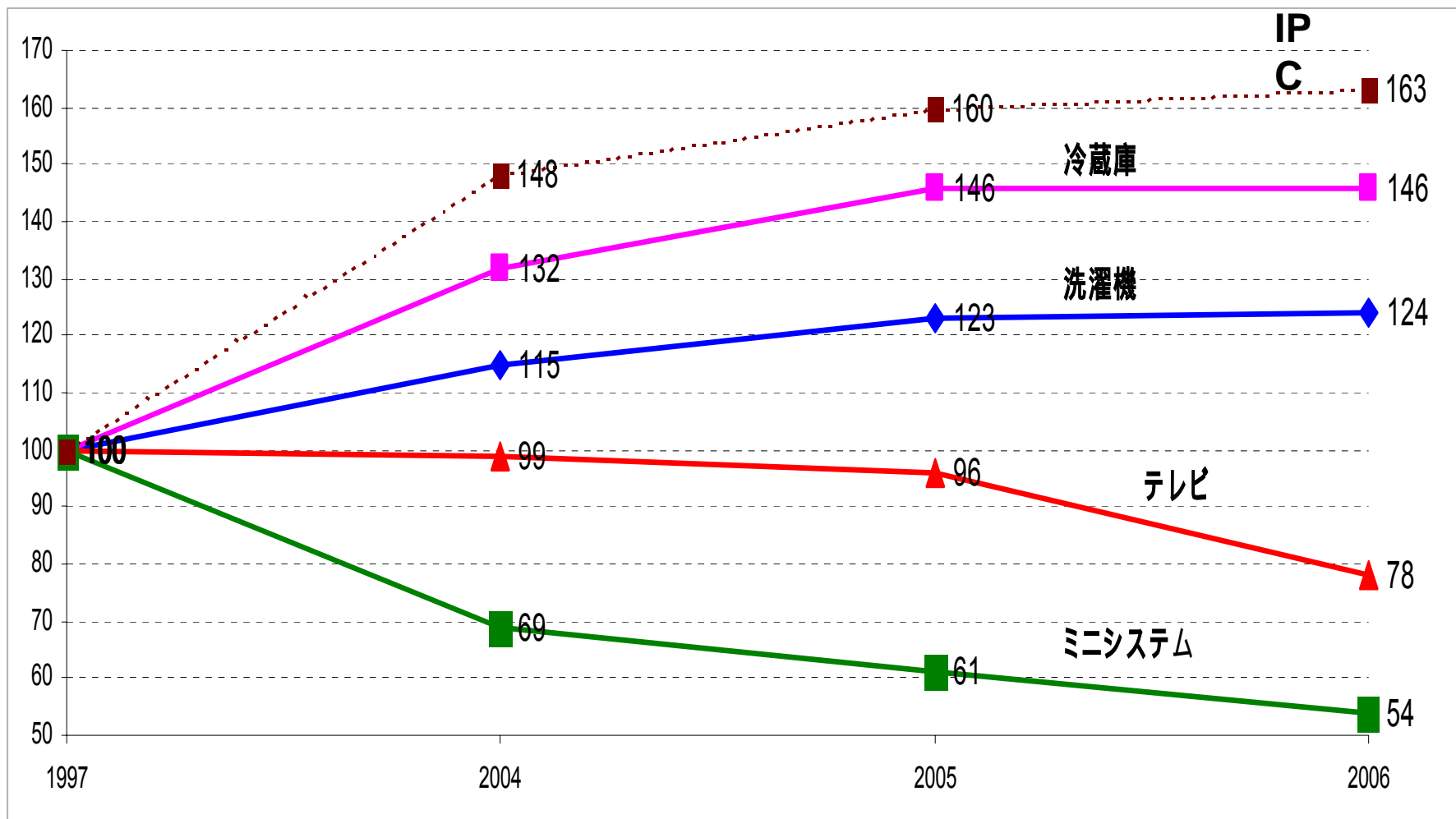
4. マナウスエレクトロニクスメーカー 11社の雇用総数

02年6月	9.198名	
03年6月	9.656名	
04年6月	11.094名	57% UP
05年6月	11.268名	
06年6月	14.491名	

5. レアル高に伴う商流の変化

* 中国からの完成品の輸入に滑車がかかる（電子レンジ、DVD、乾電池、等）

* インフレと商品価格の推移〔レアル建て〕



6. SBTVD-T(ブラジル地上波デジタルテレビ方式)がISBD-T(日本方式)を基礎として実施 されることが6月29日に正式発表された。

日本方式の特徴は:

* 高品質な映像や音声サービス(妨害に強い)

* 移動体通信(携帯電話でテレビ受信可能)

但し、モジュレーションとして日本方式に決定された段階で、そのスペックの議論はこれから、事業機会が見えるのは1-2年先か?

7. MERCOSUL : ブラジル製カラーTVに対するアルゼンチンのセーフガードの輸入枠は 需要の10%程度

8. 2006年下期への期待

* 材料価格の正常化:銅、亜鉛、石油関連

* 現行ドルレート of 安定継続

* 選挙戦による経済変動は基本的なし、需要安定か

9. 建設不動産 部会

阿部 勇 部会長

9. Departamento de Construção e Imobiliária

Presidente: Isamu ABE

10. 運輸サービス 部会

丸山 亘 部会長

10. Departamento de Transportes e Serviços

Presidente: Wataru MARUYAMA

11. 自動車部会

岩村 哲夫 部会長

11. Departamento Automotivo

Presidente: Tetsuo IWAMURA

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート <2006年8月3日>

2006年上期レビューと下期展望

1. 四輪車
 - ・生産状況
 - ・国内販売状況 (含むFlexFuel車)
 - ・輸出状況

2. 二輪車
 - ・生産・販売状況
 - ・輸出状況

3. 自動車部品

部会テーマ

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート <2006年8月3日>

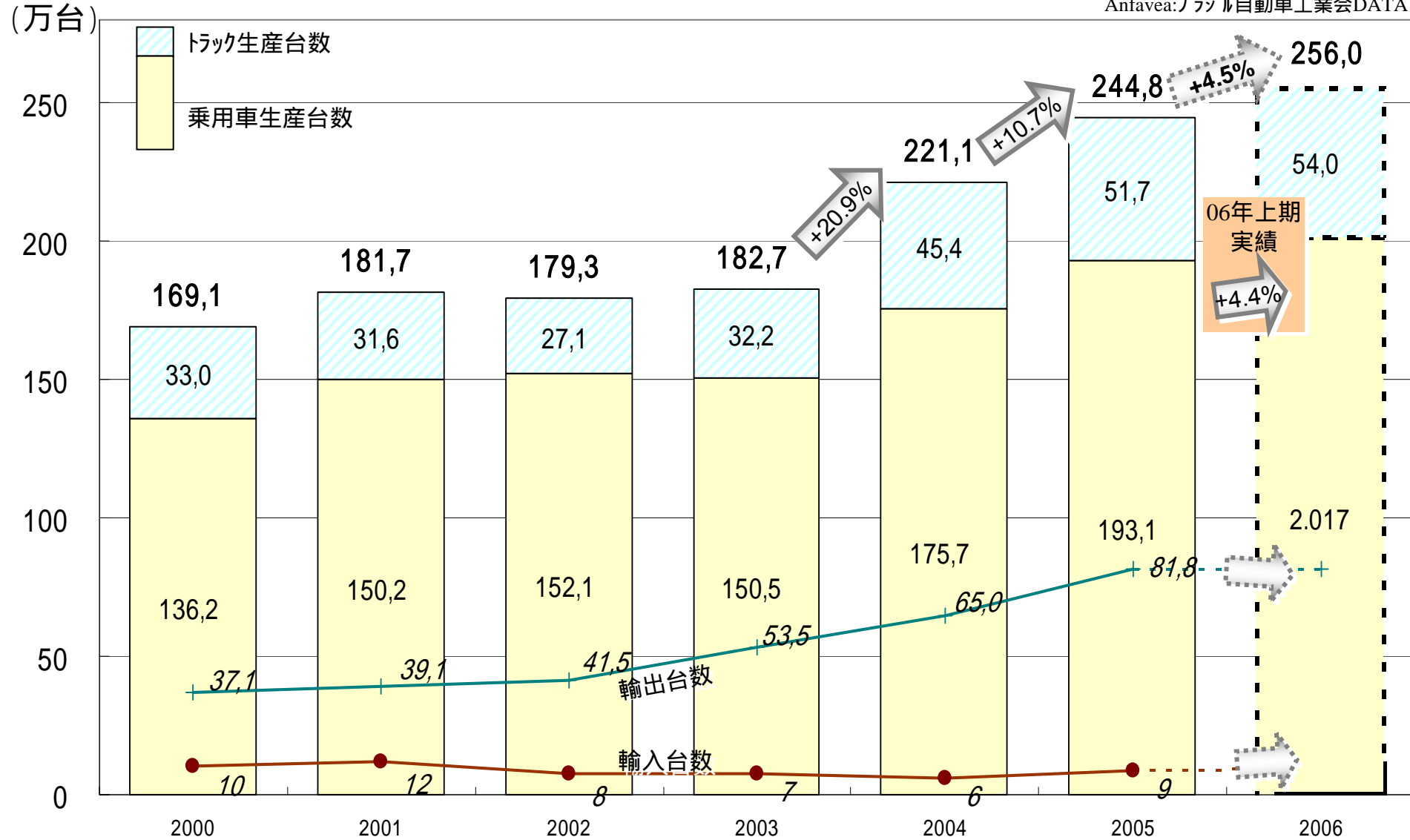
2006年上期レビューと下期展望

1. 四輪車
 - ・生産状況
 - ・国内販売状況 (含むFlexFuel車)
 - ・輸出状況
2. 二輪車
 - ・生産・販売状況
 - ・輸出状況
3. 自動車部品

部会テーマ

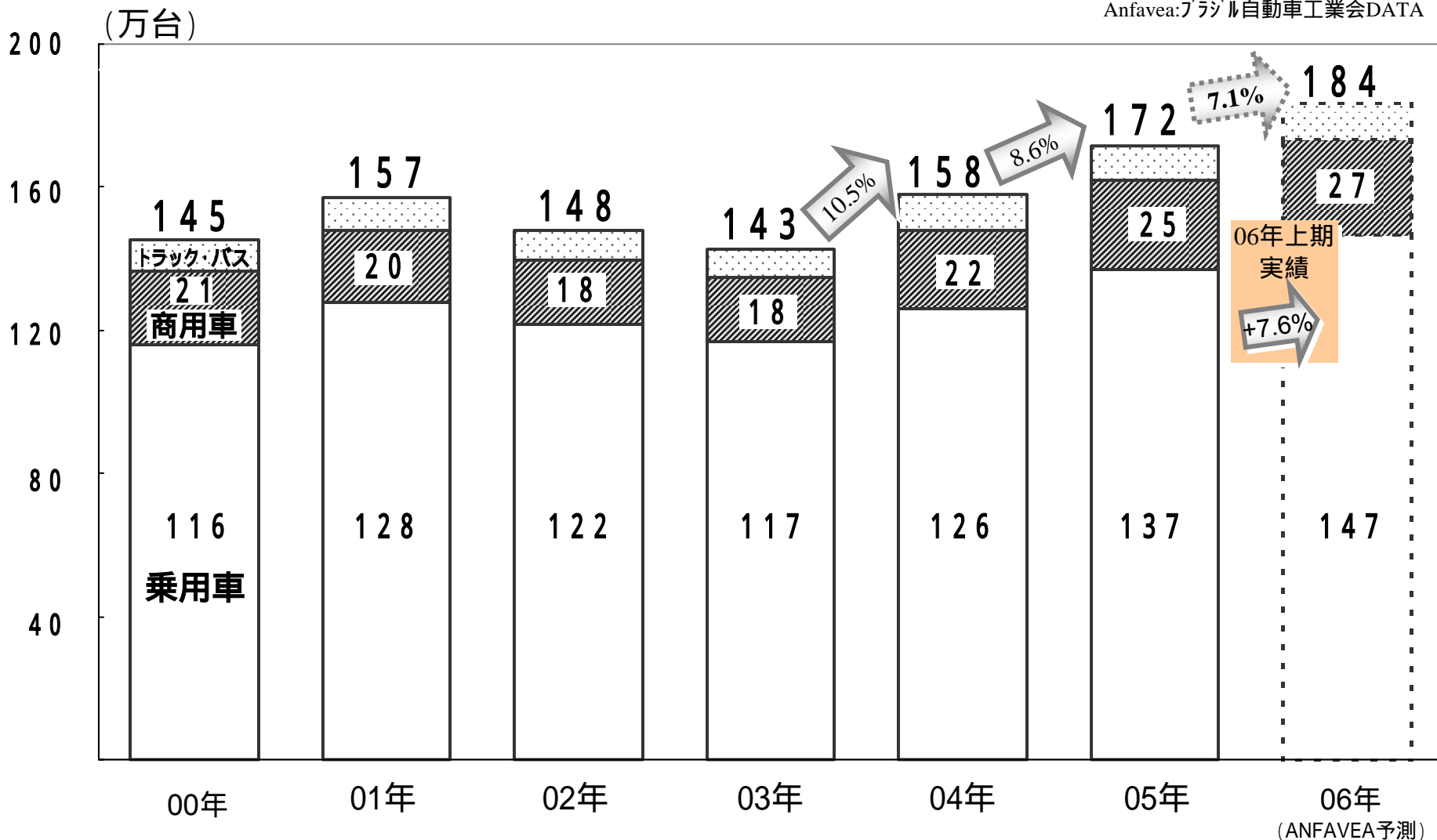
四輪車生産状況

Anfavea:ブラジル自動車工業会DATA



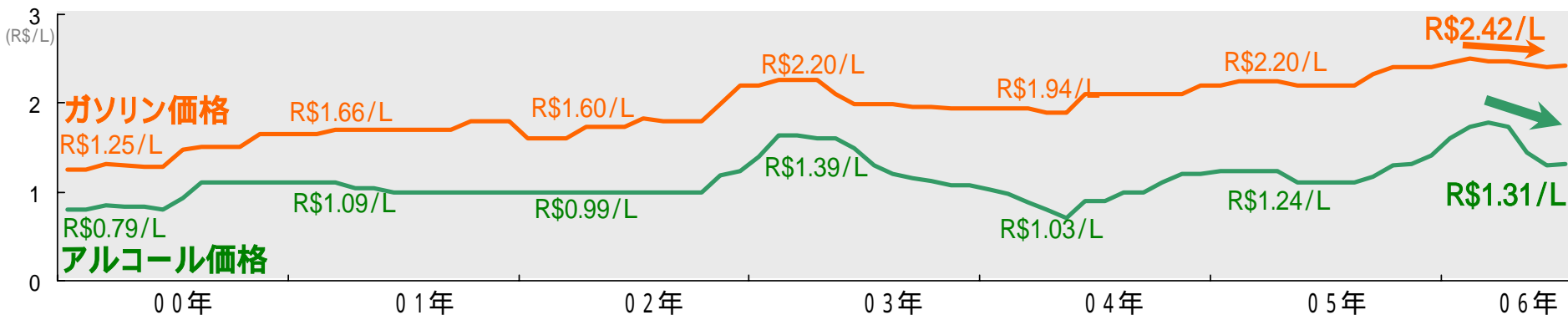
2006年上期は約130.2万台(前年比104.4%)、過去最高記録を更新
2006年通期も約256万台(前年比104.5%)、過去最高を予測

Anfavea:ブラジル自動車工業会DATA



2006年上期は、約86.1万台(前年比107.6%)、過去最高記録を更新
 2006年通期も、約184万台(前年比107.1%)を予測 …97年(過去最高)に迫る

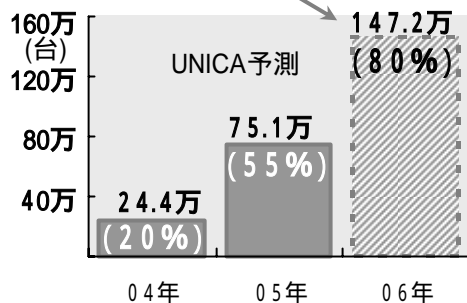
燃料価格動向



FLEX FUEL車の伸び

06年販売比率 当初予測

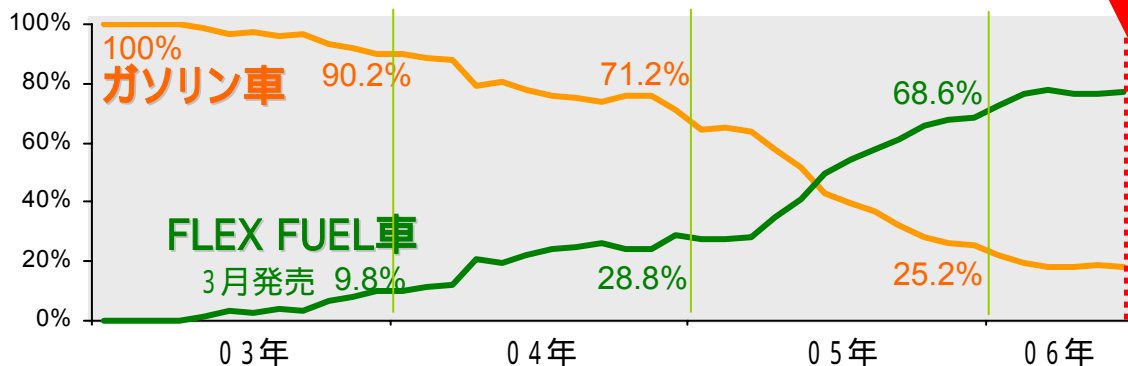
Anfaveaの予測では06年新車販売台数
前年比+7.1% = 184万台
(乗用・商用・トラック・バス)



新車販売での比率 (実績)

(ANFAVEAデータ)

06年前半ですでにFFV 77.1%



FFVシェアは安定的に7割を超える。アルコール価格落ち着き、更に拡大。

	輸出台数		輸入台数	
	1-6月実績	前年比	1-6月実績	前年比
Total	422,899	96.3%	48,804	125.8%
乗用車	324,039	94.7%	25,120	130.0%
商用車	73,483	102.5%	22,084	122.7%
トラック	17,736	110.0%	1,589	108.8%
バス	7,641	84.4%	11	137.5%

Anfavea:ブラジル自動車工業会DATA

< 輸出 >

為替が輸出にブレーキ。しかし、当初各社が予想した台数より落ち込み少なく、ドル建てでは5.6%前年同期比を上回る。

< 輸入 >

対ドル、レアル高効果による各社の値下げや販売促進効果もあり、販売は好調に推移。

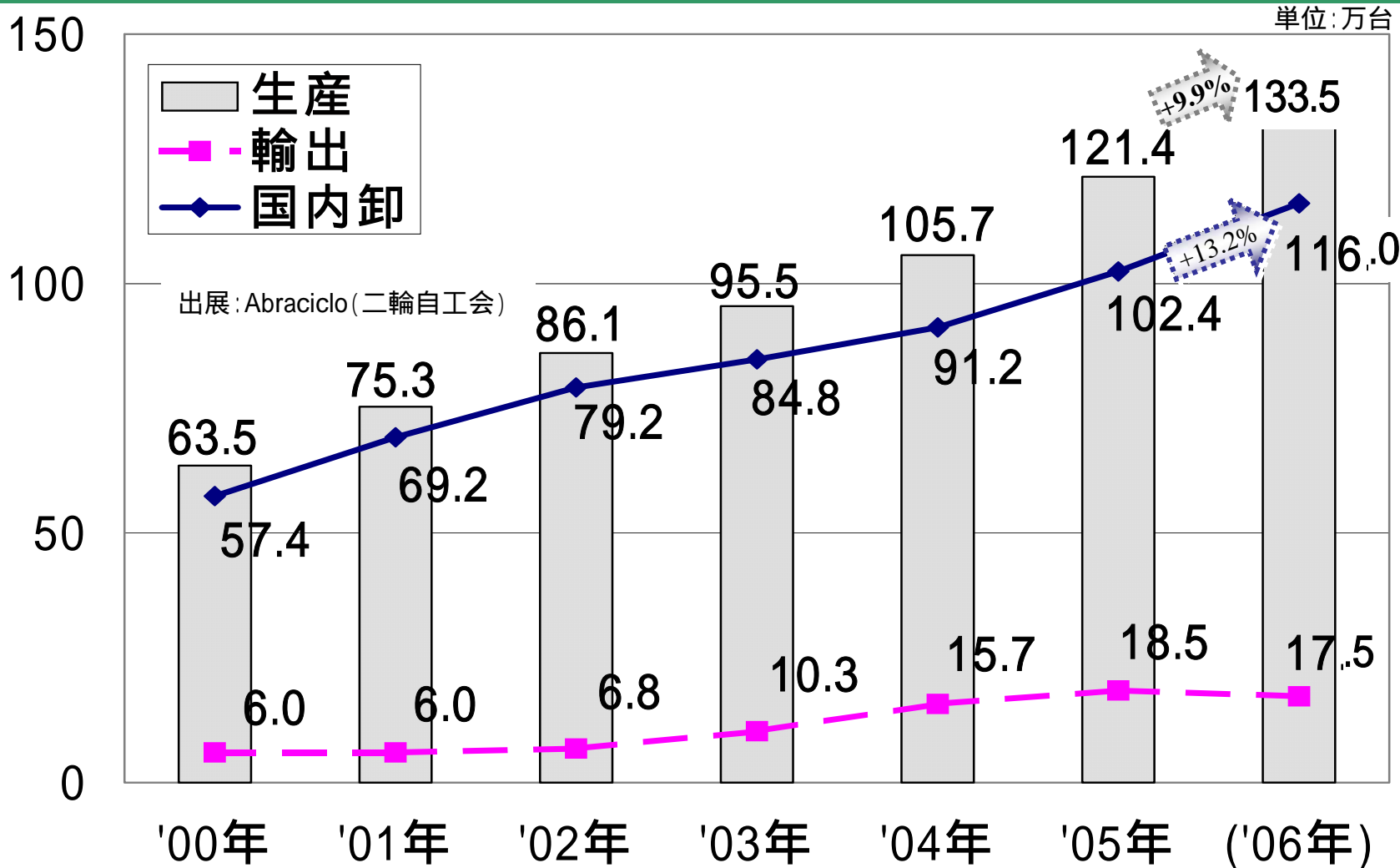
ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート <2006年8月3日>

2006年上期レビューと下期展望

1. 四輪車
 - ・生産状況
 - ・国内販売状況 (含むFlexFuel車)
 - ・輸出状況
2. 二輪車
 - ・生産・販売状況
 - ・輸出状況
3. 自動車部品

部会テーマ



<2006年上期>

生産: 71.2万台(前年比116.6%)
 国内販売: 62.8万台(" 120.6%)

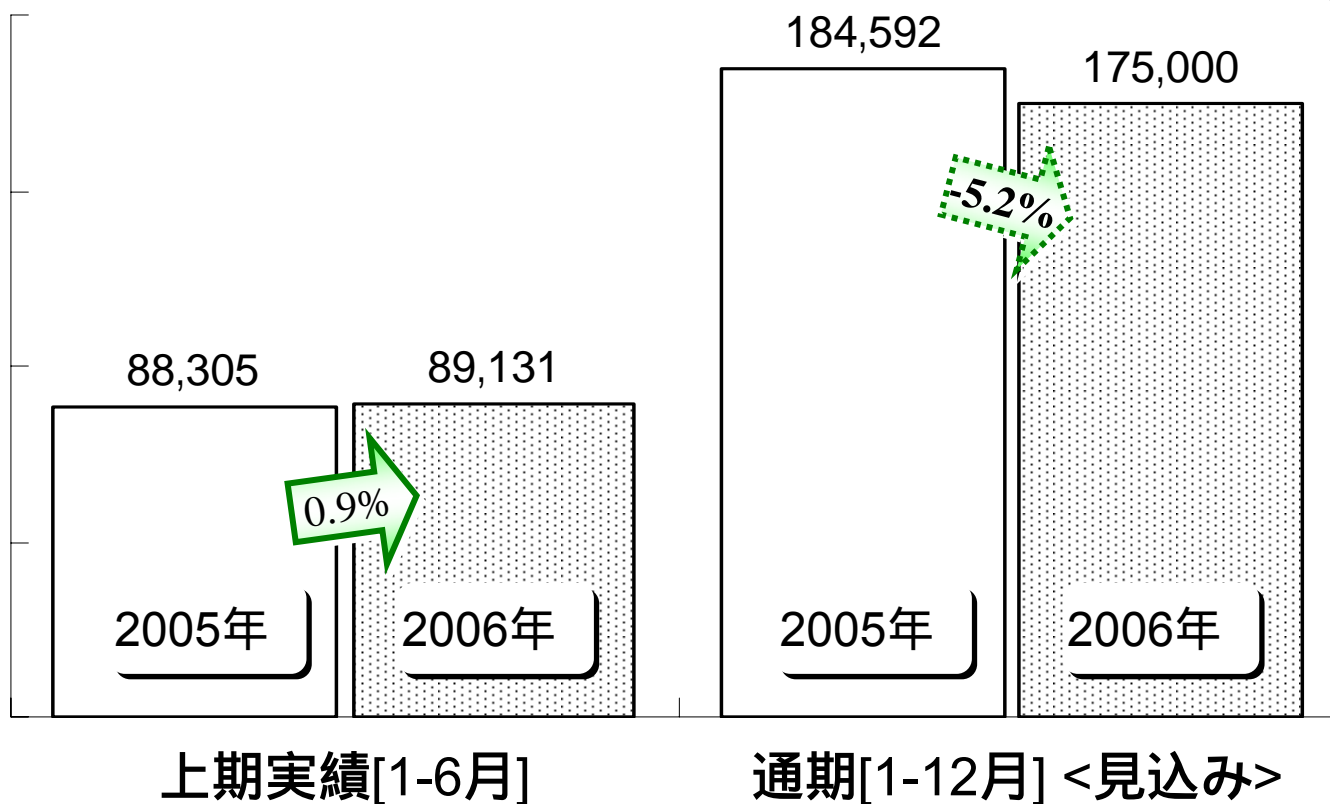
過去最高記録を更新

<2006年通期 見通し>

生産: 約133.5万台(前年比109.9%)
 国内販売: 約116.0万台(" 113.2%)

順調に拡大・過去最高を予測

出展: Abraciclo(二輪自工会)



- ・レアル高による価格競争力低下
- ・しかしながら、6月から米国向け輸出が本格化

ほぼ前年同時期並みの輸出実績を達成。

- ・レアル高に伴い価格競争力が限界に近づく
- ・中国製コピー製品流入による競争激化

2006年通期では、前年を下回る見通し。

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

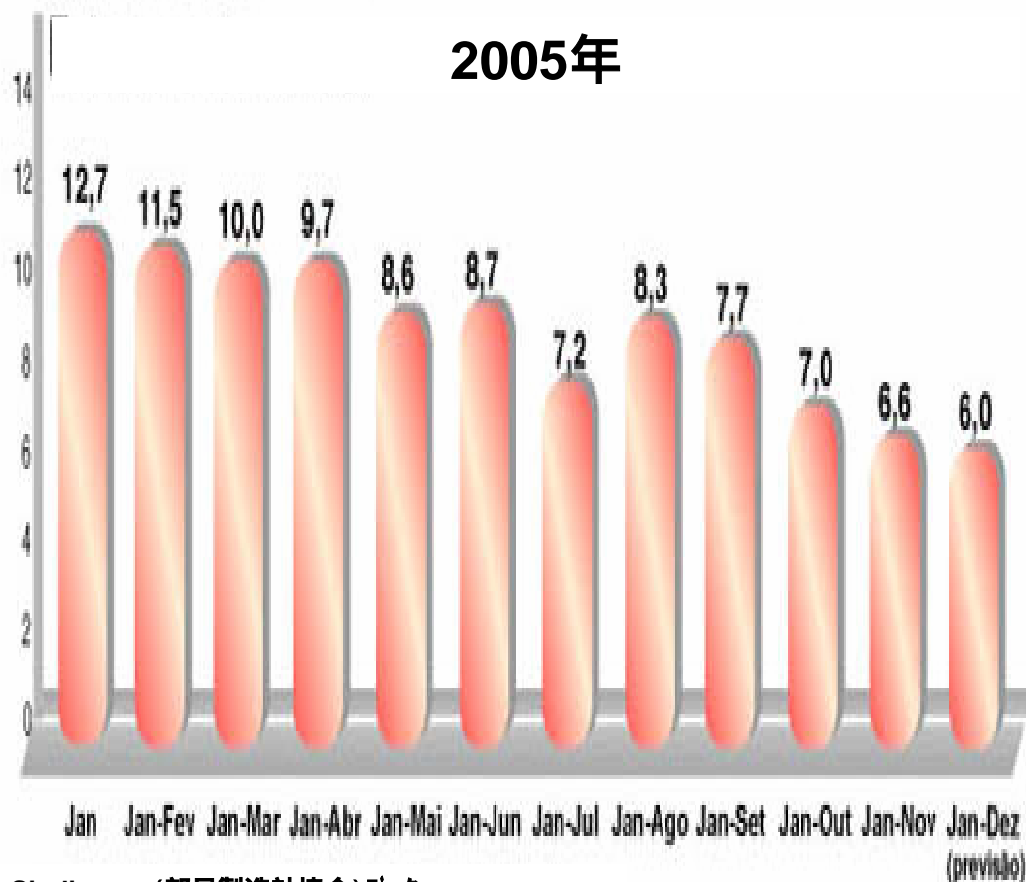
「自動車部会」レポート <2006年8月3日>

2006年上期レビューと下期展望

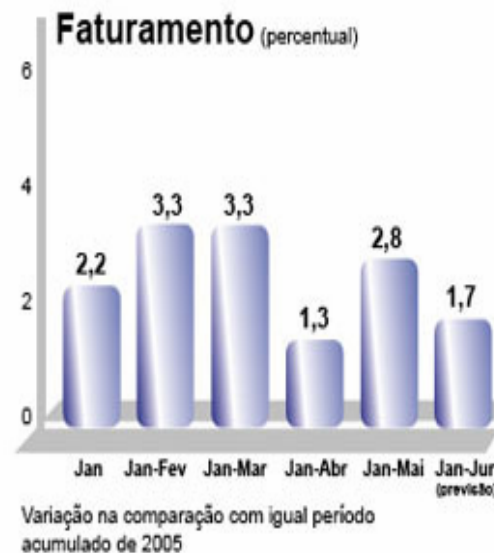
1. 四輪車
 - ・生産状況
 - ・国内販売状況 (含むFlexFuel車)
 - ・輸出状況
2. 二輪車
 - ・生産・販売状況
 - ・輸出状況
3. 自動車部品

部会テーマ

部品売上伸び率(対前年同期比)



2006年



- ・堅調な完成車国内販売の増加に伴い、全体的には売上げ増加を見込む。
- ・05年後半以降の売上伸び率の鈍化傾向は、06年に入っても継続。

ブラジル日本商工会議所 業種別部会長シンポジウム

「自動車部会」レポート <2006年8月3日>

2006年上期レビューと下期展望

1. 四輪車
 - ・生産状況
 - ・国内販売状況 (含むFlexFuel車)
 - ・輸出状況
2. 二輪車
 - ・生産・販売状況
 - ・輸出状況
3. 自動車部品

部会テーマ

1. 「健全な二輪業界育成に向けた自主監視体制強化」
2. 「EPA (経済連携協定)に関する業界内の課題」

移転価格税制

INPI等の認可プロセス

労働法および労働組合

ブラジルビザ取得

了

講評

公使：大竹 茂

Comentário do Ministro da Embaixada:

Shigeru OTAKE

閉会の辞

総務委員長：松田 雅信

ENCERRAMENTO

Presidente da Comissão de Coordenação Geral:

Masanobu MATSUDA